

べることができるもので、口の中で簡単にまとまり、飲み込めます。

とろみの程度

弱いとろみ

- 口に入れると液体の種類・味や温度によっては、とろみが付いていることがあまり気にならない場合もあります。飲み込む際に大きな力を要さず、ストローで容易に吸うことができます。見た目としては、スプーンを傾けるとずっと流れ落ちる、フォークの歯の間から素早く流れ落ちる程度です。

中間のとろみ

- 明らかにとろみがあることを感じますが、「飲む」という表現が適切にとろみの程度です。口の中では、ゆっくりですぐには広がらず、舌の上でまとめやすいです。見た目としては、スプーンを傾けると「とろとろ」と流れる、フォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちる程度です。

強いとろみ

- 明らかにとろみが付いていてまとまりがよく、送り込むのに力が必要です。スプーンで「食べる」という表現が適切で、ストローの使用は適していません。見た目としては、スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくい、フォークの歯の間から流れ出ない、カップを傾けても流れ出ない（ゆっくりと塊となって落ちる）程度です。

姿勢（体幹） 90度 60度

- 90度は通常の食事姿勢です。
- 60度食事姿勢は、ため込みがみられる場合や介助で食事をする場合にこの姿勢にすることがあります。

姿勢（頸部）

顎を引いて

- 摂食方法のテクニックの1つで、顎を引いて嚥下することで、のどに食べ物が残留しないようにする方法です。

頸部回旋

- 摂食方法のテクニックの1つで、のどの機能の悪い側に首を回旋（かいせん）して嚥下する方法です。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	口腔	口腔内の清掃保持方法が現在のもので正しいのか。認知機能の低下のため、介助難しいときがある。	お昼食後にすすがないタイプのデンタルリンスにて担当の先生が上手に磨かれていました。残存歯も多く、清潔に保たれています。利用者様が受け入れ可能であれば、週一回からでも歯間ブラシの併用もさらに清掃度が上がりますので、取り入れてみてもいいかもしれません
9月	口腔	歯間ブラシを使用すると歯グキから出血する。歯間ブラシを使用してもいいか。	歯肉から出血があるのは、歯間の汚れが原因で歯肉炎を起こしているからと思われます。歯間ブラシで歯間ケアで出血していても、続けてケアすることで、出血が徐々に少なくなり、痛み等も減って来れば問題ありませんが、痛みが強くなる、出血量も多くなったり変わらないなどある時は、歯科受診をおすすめした方が良いでしょう。ご自身で歯間ブラシが出来るようなら指導練習してもらい、ご自宅でも行うようにすると炎症も早くよくなると思います。
9月	口腔	使用している歯間ブラシが入らない所があります。M、Sなど併用するべきでしょうか	下前歯の重なっているところでしょうか。現在使用のものが入らないときは、1段階～2段階細めのものを使用してみてください。それでも入らないときは、ムリに使用しなくても良いです。糸ようじのようなフロスを併用すると良いかと思えます。
9月	口腔	歯間の汚れがきれいに取りづらいです。歯間ブラシのサイズを変更したほうがよいですか	歯間ブラシのサイズはSSS～LLまで太さがあります。歯間に入りにくいのであれば、一段階下げたサイズを使用してみてください。SSSも入らないところは無理に入れず、糸ようじのようなフロスをおすすめします。
9月	口腔	誤嚥性肺炎を繰り返しているが、現在口腔ケア時は少量の水でうがいを行っています。現時点でのうがいの水分による誤嚥のリスクは問題ないか。又、舌奥の舌苔がなかなか取れません。何かいい方法はありますか	誤嚥リスクが高いため、少量の水で良いかと思われます。そのかわり、くるりーなブラシでしっかり清拭を行いましょう。また水を吐き出すときも残水で誤嚥するので、舌で水を押し出すようしっかり舌を向いて水を吐き出して下さい。うがい回数は2回ぐらいで終わりにして下さい。 奥舌の舌苔は保湿剤を舌上に塗り、くるりーなブラシで円を描くように又は左右ななめ下方向に奥から動かしてみてください。しっかり舌を出してもらい、指でおさえて磨くことも行って下さい。しかし決して無理ないようにし、全てとれなくてもいいです。少しでも減ることで、次回ケアが楽に出来ると思います。
9月	口腔	口腔清掃全て介助にて行っていますが、歯間ブラシの際、奥の方はどのように磨くべきでしょうか	奥は狭いところで、ブラシを入れるので、入れにくかったりブラシが曲がってしまうことが多いと思います。「イ」の口で嚙んでいただき、指で口角を引くようにし、奥が見えやすいようにしてみてください。歯間を確認し、歯間ブラシをゆっくり入れて見て下さい。 入らない場合は、裏側から入れる方法もありますが、無理せずにサイズを細めにするなどしてみてください。それでも入らないときは、ムリに使用することはやめておきましょう。
9月	口腔	舌ブラシ(歯ブラシ)で舌苔をキレイに清掃するためには、利用者の舌の特徴等に合わせ解除方法が異なりますか	舌の状態を確認し、舌の表面が亀裂が入っているようなときは、舌苔がないときは磨かず、舌苔のある時は、保湿剤を塗り広げ、やさしく磨いて下さい。 口腔乾燥が見られる舌上も乾燥しているときは、同じように保湿剤を併用してケアしてください。 舌の表面が赤く地図上に模様があったりするときも、無理にケアせず保湿剤を併用して下さい。異常が見られたときは、歯科医・歯科衛生士に相談するのが良いと思われます。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	口腔	舌の汚れがややあります。本人くすぐったいとのことでやりたがりません。舌のケアの必要性をわかってもらえる良い声かけを教えてください	舌に汚れがあるとそこで菌の繁殖が起こり、口臭の原因やまた誤嚥性肺炎の原因にもなり、体にも悪い影響が出ることを説明しましょう。また味覚に変化があるのでわかりやすいかもしれません。舌ブラシで磨く際、力を弱めてそっと磨くとくすぐったい感じになり、拒否があるかと思います。ある程度軽く押し当てて、磨いたほうが、汚れもとれ、くすぐったい感じは少ないと思います。
9月	口腔	上の歯がなく、ハレが見られます。歯の根が2本ほど残っていて、ケアすると痛がります。歯ブラシ以外のケアの方法はありますか？	歯周病が進行していると思われます。その状況が続いているのであれば、歯科受診をおすすめしたほうが良いと思います。歯ブラシはかなりやわらかめのブラシを使用しケアしてみてください。
9月	口腔	舌ブラシを使用していますが、舌の白いもの(汚れ)がなかなか取れません。どうしたらよいですか。	舌ブラシで磨いても、なかなかとれないときは、保湿剤を併用すると比較的きれいにとれます。舌ケア前に保湿ジェルを舌上に塗り広げ、少し時間をおいてから舌ブラシで磨いて下さい。一回で全ては落とせなくても、くり返し食後にケアすることで、徐々に減ってくると思います。ケア後にも保湿ジェルを再度塗ると汚れが付きにくくなり、乾燥を防ぐこと出来ます。
9月	口腔	利用者がむせ込み(うがい)見られ個人差はあると思いますが、一回のうがい量(口に含む量)はどのくらいが適切でしょうか。	うがいの時にムセが見られるときは、上を向いてガラガラうがいをせずに、頬をよく動かしてブクブクうがいをして下さい。吐き出すときは口の中に水が残らないように下を向いてしっかり全て水を出してもらおうよう声かけして下さい。舌で水を押し出すように出してもらいましょう。安全な量は個人個人違いますが、毎回むせるようなら、上記のやり方で行い、またそれでもムセがあるときは、量を少なめに、回数も少なめにし、うがいを行って下さい。ただし、うがいが十分に出来ない場合、口の中の汚れもしっかり吐き出せることができないため、不衛生な状態が残ってしまいます。スポンジブラシ、くるリーナブラシ、ウエッティなどで清拭が必要になるかと思います。
9月	口腔	義歯のヌメリがあるので、どうすればよいですか	義歯ブラシを使った方が、しっかりヌメリもとれ磨けると思います。しかし長期間付着している汚れは、ブラシだけでは除去出来ないこともあるので、台所用の洗剤(食器用)や手洗い用洗剤を付けて磨くと更によく落とせると思います。
9月	口腔	歯間ブラシを使用すると出血が多くあるのですが使用してもいいですか	歯間ブラシのサイズが合っているのであれば、使用して下さい。歯間についている汚れの影響で歯肉が炎症を起こし出血していると思われます。痛みが伴い、なかなか痛みや出血がとれない時は、歯科受診をおすすめした方が良いでしょう。
9月	口腔	部分入れ歯の金具によごれが目立っているのですがどのように清潔に保てるのでしょうか	義歯用ブラシはブラシの部分が、金具部分用と広い面を磨くようにわかれています。ご自身で磨けるのであれば、練習しながら慣れていき、清潔に磨く意識を持ると良いと思います。また磨き残しがないか確認し、指示しながら仕上げ磨きも行いましょう。
9月	口腔	舌にキレツが入っているが、汚れてはいないが本人は舌の掃除はしたがる。やったほうが良いのでしょうか	舌に亀裂が入っている場合、汚れもないなら舌ケアするのはやめがほうが良いと思います。舌が乾燥している状態なので、そこに舌ブラシで磨くことで痛みも出てくる場合があります。保湿ジェルや唾液腺マッサージなど行い、乾燥しないようにご本人様に伝えてください。
9月	口腔 / 栄養	最近自宅で食べこぼしが多く、みそ汁などはほとんどこぼしてしまうとのこと。デイサービスでもみそ汁の食べこぼしが多く、声かけを行っているが、指示などはなかなか理解できていない様子がみられる	筋力の低下もあり、食べる時の姿勢が安定しないようです。ご自宅でも姿勢確保には気をつけてください。指の力が低下していますので、手指の運動も意識して行い、できるだけ自力で食べる力を保っていきましょう
9月	口腔 / 栄養		食事する前の食器などの改良が必要かも(握力も弱く口に持っていく判断が弱いように思うので、その改善がなされた後、食事状況を見直していきたい)

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	口腔	アセスメントより食事中にむせ、固いものを避け、軟らかいものばかり食べる。歯ブラシを嫌がる。うがいの後の残渣が多い。などの項目から口腔内に何らかの問題がある様子。パーキンソン病・舌汚れ・総義歯	義歯は不安定なようなので可能なら歯科受診を。舌汚れは漢方服薬もあり、薬の影響もあると思うが、本人も気にされていて、歯ブラシで磨いておられる様なので、舌ブラシや口腔ティッシュでの拭き取りも試されてみると良い。
9月	口腔	⑦固いものを避け、やわらかいものを好む。奥歯がない。義歯も使っていない	残存歯が一本程度で奥歯もなく、義歯も使用していないとのことで、固いものや大きすぎるもの、繊維質のものなどは好まれないと思う。本人の好みのもので、食事量を確保してもらい、副食はトロミやあんを使用して、まとまりやすい形状にしてみたら良い。車イスで座面が低く、腕を上げての食事になっていたため、座面にクッションを入れて、座高の確保をして食事をして頂きたい。
9月	口腔	食事中的ムセが心配(ムセるのは食物のみで水分は問題ない：とろみなし) 固いものを避けて食べる(食形態：常食) かきこみ食べをするため、ゆっくりたべるよう声かけはしている	訪問歯科にて嚥下評価及び、口腔内診査を受けられることをおすすめします。口腔内診査では固いもの(常食)が食べられる口腔内状態であるか評価していただくと良いでしょう。
9月	口腔 / 栄養	おかゆしか食べてない。歯医者がニガテで口腔内の様子がわからない。独居で衛生面の管理がむずかしい。義歯なし	食形態(やわらか食・一口大)。食具の好みなどを確認し、スプーンなどの利用をすすめる。口腔内確認後、食形態検討。口腔ケアの声かけ。歯科検診の必要性有り
9月	口腔 / 栄養	胃術後、食欲ない(1割)	食事が疲れて止まってしまう事が考えられるため、食べやすい工夫(例)マーボー豆腐定食→マーボー丼。食べる量(1口量)をふやすため。低栄養予防の為、栄養補助食品検討。口腔内確認
9月	口腔	義歯を使用されず、食事されている。現在は、米飯・普通食を提供。形態は変更しなくてもよいのか。口腔ケアはうがいのみ。残渣物はほとんどなし。ケア方法はこのままでよいのか。	口腔ケアのうがいの後、目視を確認を。舌の上の汚れがないかも見て頂きたい。軟毛ブラシで口の中、歯ぐきケアをされると唾液も出てよりよい。長期間義歯を使用されず、食事をされていたのであれば、現状のほうが本人様の負担も少ない。入れることで、かえって食べにくくなる方もみられるので、排泄に問題が出ていないようであれば現状の食形態でも良いかと思う。自宅や他での状況と合わせて確認して、検討して頂きたい。
9月	口腔	義歯があつてないようで会話中に外れてしまう。以前からムセがあり、水分にはトロミを付け提供して入りは良くなっているが、食事はムセが多い。現在は普通食を提供しているが、一口大に形態を変更したほうがよいのか考えている。一口大だとかまわずに飲み込んでしまわれぬか心配。	食物の大きさ、形にバラつきがあるものはムセの原因になりやすい。ムセ頻回であれば、食事の副食にもトロミをつけることも良い。口腔準備期の問題として義歯が合っていないと十分にかめず、食塊形成もしにくいので受診で確認されてはどうか？義歯安定剤を長期間使用するよりも調整されるほうがよいと思う。繊維の多い野菜等は噛みちぎりにくいので、一口大での提供の方が食べやすいのでは？ペーシングに同じテーブルで職員さんが食事等され常に声かけされるとよいのでは
9月	口腔	流涎がひどく円背もあり、食事中むせることがある。肺活量弱く、咳も力強くできないため誤嚥しやすい。口内の不快感あり。頻回にうがいをしに行かれる。唾液が粘稠	流涎される→口腔周囲筋、口すぼめ呼吸でトレーニングを。円背は呼吸の安定悪く、むせると出す力も入れにくい。上肢をを組んで上がるころまで持ち上げたり、ゆっくり口すぼめ呼吸リハをしてもらうとよいと思う。(一つ一つの動作を丁寧に)唾液流量を増やす目的として、唾液腺マッサージや舌の運動、粘膜(頬)の直接マッサージが有効。パタカラの発声練習も舌が動くので唾液が出やすくなる。音読で大きな声を出すことで呼吸量をあげることが出来ます。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	口腔	食事に時間がかかる。2時間くらい食べる意欲、認識はある(自分で食べたい)努力嚥下される。(うつむき加減で苦しそう)円背あり	食事時間が長いとつかれてしまうので、出来たら1時間以内に終わるようにしたい(形態を下げるか、高カロリー食へ変えるか) のみこむ時にすごく苦しそうな表情をされる(のどのひらきが悪そう)自分なりに工夫してのみこまれている様子 交互嚥下(固形物のあとは水分などを流してもらう)をしてもらうと、咽頭への残留が少なくなる
9月	口腔	歯ブラシの消毒について。医療用ハイターを使用しているがどうか	基本的には歯ブラシは消耗品なので、消毒は必要ありません。どうしてもという方には、個別で、医療用ハイターで消毒してもかまわないと思います。 特にデイではカバンに入れたまま、次のデイサービスにくるまで、そのままという方も多くおられます。基本はしっかりと水洗し、よく乾燥させてください。 対策としては個別で歯ブラシをおあずかりして、管理するというのも一つの方法かと思えます。
9月	口腔	入れ歯安定剤について。朝つけてきたらそのままでもいいのか。	基本的には、毎食後はずしてもらい、入れ歯と粘膜についている安定剤を取り除いて下さい。食後、粘膜にべっとりつくっている場合は、量が多すぎると思われます。 粘膜についた安定剤はウェッティなどでやさしくふきとってください。 安定剤をつける位置について、上あごの真ん中部分にはつけないで下さい。小豆大くらいを三ヶ所程で
9月	口腔	歯が痛くて食事が出来てないとの訴えがあったが次来所の際には、普通に召し上がっていた。歯が痛いのでしょうか 歯医者さんでは歯肉が腫れているので、それが治まらないと治療が出来ないと言われているとのこと	認知面の問題もあり、本当に歯が原因で不明の為、もう少し様子をみて頂くようお話しさせて頂きました。痛いとき、痛いところがいつも同じかなどもう少し見ていただくとよいと思います。
9月	口腔	②・⑩・⑫・BMI 15.0パーキンソン病で円背傾向、首を上を上げるのが困難でどのようがいはいは出来ない。ぐちゅぐちゅがいはいはできる。口の周りの筋肉は低下してきている。	食事内容によって、食時間がかわるのか、飲み込む力の低下があるのか見極めが必要。薬の状況で指示入りにくいこともあるが、口の体操は必要なので継続をしてもらう。 歯磨き介助後口腔内の目視で残留がないのか確認を行うとよい。 食事時の声かけでペースが落ちないようにもして頂く。
9月	口腔	食事終了後にむせたりされる(頻回ではない)口腔体操として個別に唾液腺マッサージを行っている。	むせにつながりやすい食物の時のみのムセか、食内容の確認。 飲み込みを良くする嚥下リハ(息こらえ、声帯閉鎖等)嚥出力を鍛え、出す力もつけていただければどうか。 口腔体操にメニューを増やすと良い。食事時間が長くなると疲れて飲み込みにくい状況につながることもあるので、食事のペースも観察してみる
9月	口腔	むせ込むことが多くなったので食事にトロミをつけはじめ少し良くなったようだが、濃度をどの程度にしたらよいか	圧迫骨折したことがある。 むせ込みは→食べる時の基本姿勢(90°)はよいが、腹部あたりがまがって姿勢が悪くなっているのでは トロミの加減→評価の必要があるかもしれない。家族に相談するのもひとつ

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	口腔	食事は井状で提供(米飯にキザミ食をのせて)水分トロミ対応。 とにかく早い。肺炎が多発(訪問による自宅治療)。ショートステイ先との連携。口腔機能	食事形態はこのまま様子観察で。食事中どの状況でムセるか次回までに観察してください。摂取が早い。声かけ(している)。スプーンの工夫(している)このまま様子を見て下さい。 ショート先と食形態が違う。以前ケアマネに相談済み。ふく福さんの目標が「食事の自力摂取」なので、その目標に向かってケアをしているので、その旨ショート先にも伝え、同じ目標で。口腔機能の評価をおすすめします(肺炎が多い)
9月	口腔	重度の認知症があり思うように食が進まない。食事が自分でしようとするときもあれば、全くなく介助してもなかなかすすまないことも多い。口も開けにくい状況で一口ずつ入っていかない。	意識がしっかりした状況で食事をはじめることがとても大切です。食前のマッサージは介助者が行き、お口が食べる準備を整えていく環境(唾液で潤すなど)を作って上げて下さい。米飯は認識しやすいよう黒い色の器に入れて頂くのもよいでしょう。支援の考え方で対応していくことがとても大切なので、食事のさまたげになるような環境はできるだけさけて下さると良いと思います。冷たいものがニガテでなければ、食前に小さめの氷をなめて刺激を与えてくださってはどうか? 食事の際に一皿だけにすると食事がすすむ場合もあるので、トレーの上にたくさんのせずにしてみるのも進むきっかけになるかもしれません。
9月	口腔	食事に30分以上かかる、うがい後の食渣が多い。食後すぐに義歯を外される	食事時間に関しては認知からか、口腔内の状態が問題なのか見極めが必要になります。認知であれば、食環境のどこに問題点があるのかを検討して下さい。歯の問題は受診が必要な場合があります。声かけを必ず続けペースがおちないようにリズムを整えてあげて下さい。食後の義歯ははずしたらおく場所を決めて頂きケースなどに入れて歯磨きへの誘導をしてあげて下さい
9月	口腔	うがい後の残渣。認知症を持っておられるが、食事もしっかり食べておられる	うがいの力が弱くなってくるとたくさんの食渣がお口に残ってしまうことができます。多めのうがいを促してあげてください。又、食渣が残りやすい原因として義歯使用の方は義歯の合いが悪いと裏側や頬との間に食べものが入ったままになりやすいので調整が必要になってくると思われます。食中のムセ等がみられるようになったときからの体操ではなく予後を考え、今のうちから口腔体操に力を入れて頂くのもよいでしょう。
9月	口腔	食事中にむせこみあり。嫌なものは義歯とともに出してしまう。	食事の時の姿勢を少し注意してもらえるとよいと思います。義歯が合っていない可能性もあるので、歯科に相談してもらってもよいと思います。むせも気になりますので、食形態も合わせて相談してもらえるとよいと思います。
9月	口腔	入れ歯をつけられない。かみこんでいる。手をかんでしまうので、歯医者に行けない。(以前は歯医者にかかっていた)。気に入らないと吐き出してしまう。(おうちでも食べない)	歯科での管理が必要だと思われるので、訪問診療(歯科)を提案してもよいのではないかと。
9月	栄養	BMIが18.5を切れています。(17.5)→体重を減らさない様に食事はちゃんと食べられていますが、おやつなども加えてはいかが?	体重測定を折々してください。51.5kgを下回らないと良いです。
9月	栄養	固いものをさげ、軟らかいものばかり食べる	喫食率100%であり良い。切り方を少し変える、スプーンうのうらでつぶすなど、食べやすい手を加えることも必要あるかもしれません。BMIもOKですので、このまま続けましょう。
9月	栄養	食事を次から次へと運ぶ。軟らかいものばかり食べる	介護を受けておられ、ミキサー粥ペースト状の食事なので介助者がペースをつかみ、ごっくんのどを通ったことを確認しながら与えて欲しい

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
9月	栄養	自助食器と自助スプーンを使用しているが、最近食べるペースが遅くなってきているのはどうしてでしょう	自助食器、自助スプーンについては適切に使用されており問題はありません。注意散漫な様子もなく、ご自身のペースで摂取されていました。今後、食事摂取量が落ちる、1時間以上かかり疲労がみられる、むせるなどの状況変化があった場合は、食事形態の見直しが必要になってくるかと思えます。
9月	栄養	時々むせている様子がみられているが、声掛けして「ゆっくり一口ずつ食べましょう」と言うだけでもむせは少なくなるでしょうか	お食事内容は全粥、ペースト、とろみ付で提供しています。舌で送り込むのが難しく、咀嚼動作もほとんど行えていないため、丸呑みに近い状態です。さらに、口に食べ物が残った状態で次のスプーンを口に運ぶこともありますので、飲み込んでから次の一口にいくように声かけは有効だと思えます。
9月	栄養	食事中にむせたりせきこんだりすることがある。食事に30分以上かかる。食物がなかなか飲み込まず、飲み込みにかかる時間がかかることがある。	現在の体重が維持できますよう、1日3回の食事を大切にしっかり食べて下さい。汁物等がスムーズに入らない場合には、トロミをつけたり、ゼリー状にするなどもよいと言われますが、個人差がありますので、この方に合った状態で食べてもらえるとよいです。食事とゼリーを交互にえん下して、食べていかれるのも工夫です。副食の一品(野菜のもの等)を一部きざんで、又あんかけにして食べられるのも工夫です。
9月	栄養	①トロミのつけ方、トロミの具合について	①汁ものは温度が高いので、冷めた時のことを考慮してうすめにつける。だまにならなければ、粉、水分、どちらが先でも構わない。いずれにしても、うすめから様子を見る
9月	栄養	認知症の進行により、お椀が上手く持てなかったり、スプーンや箸で食物がすくえず食べこぼしが多く見られている。	お椀を持たず、食材がすくいやすいよう淵の深い井の使用を提案しました。実際に使用していただき、通常のご飯茶碗よりすくい易く食べこぼしも少ない様子でした。おかずも少しずつ乗せて召し上がって頂きました。
9月	栄養	糖尿病によるインスリン自己注射実施。そのため、食事管理不良により低血糖を度々起こす。	生活のリズムや食事内容を確認し、問題点を見つけ、必要であればかかりつけ医に相談し、インスリン量や薬剤の調整を指示もらうことも必要と考える。食事や活動量を含めた生活については必要な支援を入れていく。
9月	栄養	下痢と水分制限の調整が難しい。(便秘改善のため、下剤服用するがゆるくなり過ぎ介護が大変で、水分減して調整している。三ヶ月間で体重0.7kg)	自然排便できるよう生活改善(水分を含めた食事内容の見直し、腹筋力アップのための運動など)が必要と思われる。
9月	栄養	甘いものが特にお好きで副食を全部食べられない	高齢でもあるので、先に副食から食べてもらえるよう甘い野菜(芋類や南瓜など)と豆腐や卵などのたんぱく質の料理で好きな物を用意してしっかり食べてもらいたい。
9月	栄養	認知が有り、なかなか食べ始められない。食事に集中出来ない	体格指数のBMIは19.8あり、やせではないが、これ以上体重減にならないよう果物やおいしい飲み物なども用意してしっかり食べられたい
9月	栄養	むせ、せきこみがあり、誤嚥の心配がある	とろみあんかけご飯や水分のトロミ剤の濃度の工夫などされているので、あとは食事の前の体操や声かけ、まず水分を撮ってから一口ずつよくかむようにされたい。
9月	栄養	エンシュアを飲まない(家族がダイエットした方が良くというのを聞いたのかもしれない)ミキサー食DM、腎機能低下。身長156cm、BW57.1kg(H28.2 55kg)	BMI 23.4 標準。エンシュアやめて、リハ始めてもBW減少(-)、今のままで様子を見て下さい。BW計測の手段確認
9月	栄養	ムセ有。口腔内残多。義歯あつてない。	口腔内の残を流し込むにはゼリーが少したりないように思いました。交互えんげで残渣がへらせる可能性があるように思えます。お茶ゼリー150ml程度使ってみてはいかがでしょうか。

10月相談

(添付資料 4)

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	口腔	食事中にむせたり、せきこんだりする。食物をなかなか飲み込まず、のみこみに時間がかかる。うがいのあと、口からたくさんの残渣	脳梗塞によるあしの麻痺、歩行状態が悪くバランスを崩しやすい。むせの原因(脳梗塞)もあるのですが、噛める口なのか→検診を勧める。他の問題点も明らかにすることも大事。唾液をより出る様、噛む回数を多くするよう促す。残渣→現時点ではうがいの回数を増やす。
10月	口腔	食事中にむせたり、せきこんだりする。食物をなかなか飲み込まず、のみこみに時間がかかる。うがいのあと、口からたくさんの残渣	脳梗塞による、舌の麻痺により飲み込みや発音に支障があるとのこと。咬合に問題がないか→問題点を明らかにすることも大事。唾液をより出るよう「あと5回噛んで飲み込みましょう」など声かけを。残渣→現時点ではうがいの回数を増やす。
10月	口腔	やせて義歯が合わなくなった。認知症の進行によって、食事の量が減ってきた。(パーキンソンもあり。そしゃく出来ていない。途中で寝てしまう	落ちてこなくなったのであれば、歯科医院を受診されていると思います。これからも継続的に行っていただくとよいと思います。食事の時間がもう少し短くなるよう、食形態を再提案していただくか(ご家族は常食を希望)、ご検討いただいているハーフ食にさせていただくと、喫食率・カロリー共に上がると思われまます。
10月	口腔	うがい後の残渣が多い。	食事の形状とお口の中の咀嚼力のバランスがとれていないと食塊として(ひとかたまり)にまとめられず、まとめきれないものがお口の中にとどまることがあります。口の中の確認とどの位噛んでおられるか、歯と歯の間のはさまりやすさはないか、唾液はしっかりと出ているか確認してみてください。汁物(液体)→固形物という交互に食べてみることで残渣がへるかもしれません。一度口の中の確認に、受診をされてもよいかもしれませんね。
10月	口腔	(金)に口の中から出血があり、ガーゼでおさえて止血した。ご家族の協力が良く受診をされたが後の状況を確認できていない。食支援アセスメント内容に変化はない。現在SS利用中。	食事の際の姿勢に気をつけ疲れにくい体勢での食事摂取が大切だと思います。スタッフの方全員が共通の視点で食事前の準備(姿勢やテーブル、イスへの移動などができるようにして頂くようにして下さい。食事を楽しんで召し上がられる雰囲気が出て来ていて良い環境だと思います。食中の声かけもできる限りしてあげて下さい。出血等みられた時は問題のあった場所を確認しておいて下さい。歯のぐらつきなどもみて下さったとのこととで良い対応をされていると思います。
10月	口腔	左側頭葉脳血管障害、認知症などがあり、こだわりがとても強い。食渣がとても多く飲み込めないこともあるのでペースト食を提案している。上下顎ともに義歯が入っているが、残根も多い。パタカラ体操や唾液腺マッサージを行っているが、他にもあればデイや自宅で行いたい。	食渣がとても多い場合、舌の動きや口腔周囲筋の低下があります。飲み込めないことがあるとのことでしたが、嚥下力の低下により誤嚥性肺炎を引き起こす可能性も高くなります。食形態を落とすのも一つの方法ですが、まずはしっかりと噛めるようにしていくことも大切ですので、歯科受診をしてみてください。自宅やデイにいらしているときにできる体操については、後日資料をお渡しします。
10月	口腔	口腔ケア時痛みがある時はどうすればいいですか	ご自身での磨き方で磨き残しが多くその汚れが原因で歯肉に炎症を起こし、仕上げ磨きの際、痛みがあると思われます。あまり痛みの訴えが強い場合は、ブラシの毛の硬さをやわらかめにし、やさしく動かしながら少しでも汚れを減らすようにしましょう。少しずつ歯肉炎も改善してくればケアで痛み少なくなってくるのでしっかりと磨くことができますと思います。ご自身でも磨けるよう鏡を見ながら指示してみてください。
10月	口腔	やや発語が悪くなってきました。この場合口腔が影響しているのでしょうか？	発語しにくい原因として考えられるのは、口腔機能面で舌・口唇に低下が見られたり普段から発語する機会に乏しく積極的に話すことが少なくなっていることも考えられます。また口腔内で歯が抜けたり義歯が合わずはずれやすかったり前歯がないなどの口腔内の問題もあるかもしれません。歯科医・歯科衛生士など専門的に診ていただいた方がよいと思います。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	口腔	口腔体操時舌が出せない。まっすぐ・上・下は口の中で動かすのみであった。どの様にすればしっかり口の外に出せるようになるか	口腔体操を行う時、鏡を見ながら舌を出すよう指示し行ってみて下さい。口唇を越えるよう口角に触れるよう指示しましょう。それでも難しい場合は舌をガーゼなどで先端を持ち強制的に引張動かす方法もあります。なるべく自力で動かすためにも口の中で頬内側に届くように動かすことも行って見て下さい。
10月	口腔	発声が弱くなってきている気がしますが、発声練習で少しは良くなっていくのでしょうか	声を出す練習をすることはとても大切なことです。かすれている声なので、出しにくいと思いますが、まずは深呼吸を行い、呼吸を整えましょう。お腹に手をあててゆっくり「アー」と出してもらいましょう。その時に口の中が乾燥していることも考えられるので唾液腺マッサージを行ったりし、動きやすく声を出しやすいようにしましょう。
10月	口腔	口をゆすいだ後、たくさんの残渣がでてきました。口腔内チェックしようとしたのですが、上口唇が固くなかなかみれません。口腔機能向上訓練は発声練習だけで良いですか	頬・口唇の筋肉が拘縮傾向にあると思います。ご自身で頬ふくらませへこませ、口唇の横引、突出の体操を行っても難しいところもあるので、介助者が他動にて指で頬の内側から外側に伸ばすように、又、口唇も同じく外側に伸ばしストレッチする方法があります。その他に口唇を指で横に伸ばしたり、中心に縮めたり頬を手のひらをあて、ゆっくりまわしながらマッサージ行くとよいと思います。
10月	口腔	今後も認知機能低下が予測される。口腔ケア・食事が現在のものでは難しくなった時、どうすればよいか？	本日情緒に波がありました。食後の口腔ケアも本人様の状態の良い日に限っても、いいとは思いますが。ただ残存菌も多い為、朝・朝晩はやはり歯ブラシが入るといいと思いますが。ご家族様の協力が無いと難しですね。
10月	口腔	義歯も歯もなく食べている。声をかけるとムせてしまう。	そしゃくする歯がなく、食べものを口に入れもぐもぐして飲み込んでいます。舌を使わず丸呑みしているようです。舌の訓練を取り入れることをお勧めします 食欲有り、ペースも良好、常食を完食。丸呑みしているので、消化不良・誤嚥が心配される。少量ずつ食べるようにアドバイス
10月	口腔	DM：インシュリン注射。9月43.5kg→10月46kg(体重増加)155。認知(アルツハイマー型)独居。服薬は？食事は？訪看との数値との差。ADL(自分で出来る)家族が食事を作って、配食弁当など。失便あり(家族は気がついていない)	DMに対しての対応は訪看さん、主治医が把握している状況なのでこのまま様子を見る。DMと口腔粘膜・歯肉・歯周病との大きな影響があるので、今後歯肉からの出血など口腔ケア時に十分注意して下さい
10月	口腔	156cm 9月57.1→10月 54.4。エンシュア1日1本(食事量が少ない)→体重は今をキープ(管理栄養士)	エンシュアは摂取できるようになったので、このまま継続。リハビリ等施設内で取り入れているので、このまま継続して下さい。体重の変化や施設内の様子(リハへの取り組み)ケアマネさんへ情報提供を。今後ムセ等多くなったら、評価等検討して下さい。
10月	口腔	⑦固いもの避ける、副食喫食率20%。お米は好んで食べる。奥歯なし。義歯使用しない	副食内容によっては、食塊をつくりにくいものがある。トロミ(あんかけ)などをつけることで、飲み込みやすい形になるような工夫が必要だと思われる。車イスでの食事でも座高確保しにくいので、イスへの移動が可能であれば、イスで食べることや座卓を下げることも検討されてみてはどうか？
10月	口腔	下の歯ばかりみがかれて、上の歯はみがかない。そのためか歯ぐきが炎症をおこし出血しやすい。1~2分はみがいておられると思うが、みがき方が強い。介護士が手を添えても、上手にできず拒否もある。また歯科治療をすすめても難しいと思う。	上肢はあがるが、上顎がみがけないのなら、できる時は手を添えて誘導する。週2~3回利用され、機嫌のいい日もあるので、折をみて介助みがきを行う。認知症の進行を考えると先は長いので、上手に出来なくても口腔の関わりは続ける。口を触ることは続けていく。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	口腔	義歯安定剤を使っている方の昼食後の口腔ケアをどうしたらいいか	安定剤にはいろいろなタイプがあり、それぞれ粘着性や持ち具合など違うので、何を使っているか確認する。お昼は外さないと言われるなら、・しっかりうがいをする・家での手入れはどうしているのか聞く・正しい管理方法を伝える ずっと安定剤に頼るよりも歯科受診して義歯調整を検討する。
10月	口腔	食事しっかり食べられるようになった。原因ははっきりしないが、暑さが過ぎたからなのか？しかし高エネルギー食は継続し、キザミ食で提供している。	体重の減少が著しかったため、高エネルギー食の継続は必要と考えます。摂食状況と体重の変動を確認しながら、管理栄養士による栄養評価を検討されると良いでしょう。
10月	口腔	下の入れ歯をはめられない時がある。自分で入れられると出されることはないが、職員が入れるとすぐはずしてしまわれる	食事前に入れていただくように声かけする。声かけしても入れてもらえない時は、2~3回くらいで切り上げて、入れない状態で食べてもらっても良い。(食事の形態的には上のみでも問題ないため)
10月	口腔	入れ歯に黒い点々が見られる	おそらく黒カビではないでしょうか。ギシ用ブラシとギシ用洗浄剤(泡タイプ)でしっかりとこすり洗いを行ってから、つけおきタイプの洗浄剤につけて殺菌してください。それでもとれない時は、歯科医院へ持って行ってください。
10月	口腔	傾眠が多くなり、食事中に眠ってしまわれると、口の中にたくさんの食渣がある状態。出すのにどうしたらよいか	口の中に残渣物が多い場合は、スポンジブラシで大きいものを書き出してほしい。スポンジブラシだと、大きい物や、逆に細かい食渣などもかき出しやすい。ある程度出せたら、最後はウエットでかきとりをしてください。スポンジブラシで上あごや口の中の粘膜を刺激すると、目をパッチリあけられることがあるので、そういう使い方をしていただくのはどうか(食前など)また傾眠がある時は、食事を中断し、食事量を確保するためにも、食事回数を増やしてもらうのはどうか
10月	口腔	口の中から出血するが、どのようにケアしたらよいでしょうか	薬の影響か？食後の歯みがきを行う。出血があるので、少しやわらかめの歯ブラシで1カ所ずつ丁寧にみがくとよい。動かすときに横に小さく小刻みに力を入れすぎないように1カ所10回ずつみがきましょう。お口が汚れていると歯肉炎・歯周病の原因になるので汚れをためないことも大切です。
10月	口腔	①ぴったりと入っている部分床義歯について、どうしてもはずさないといけないのか？留め金が折れたりしないか ②歯ぐきからの出血が多い人の歯みがきはどうしたらいいか	①基本的には、義歯ははずしてから歯みがきを行ってほしい。ご自分ではずせる場合はなるべくご自分で行ってもらおう。とりはずしにはコツがある。留め金をしっかり持ってはずしてほしい。入れる時は広い面をおさえてもらってもいい。②出血しやすい人は、なるべくやわらかい歯ブラシを使用してもらおうように。血がとまりにく薬をのまれている方もいるため、強くこすって傷にならないようにしてほしい。やさしくみがいても出血する分は基本的には大丈夫です
10月	口腔	下の入れ歯がういてきてしまうため、ねる時ははずしたほうがよいか	先日歯科受診をされ、ギシの調整をされたとのこと。調整によりはずれにくくなったそうなので、このまま様子を見てもらえばよい。ただ口腔ケア時にギシをはずさず、歯磨き粉を使用し歯ブラシで磨かれていたので、注意が必要。義歯は必ず外してから歯磨き粉を使用せずブラシでこすり洗いを行ってください。円背が強く顎が前へ出てきてしまっている。舌下、オトガイの筋力低下あり。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	口腔 / 栄養	サービス利用中はベッド上で過ごしている。意思の疎通はアイコンタクトで行う。喫食は車イスの上で行う。アンブル歯科にて嚥下評価しており、家族(夫)は食べさせるのを楽しみにしている。飲込みが悪いのでどうしたら改善するのか。食事前には口腔周囲筋のマッサージをしている。アイコンタクトで確認しながら食事介助している	汁ものがくちからこぼれてしまう状態。おかずもうまく飲み込むことができない。本日が初日ということもあり、意思の疎通が出来ず、通常お口が常に空いていて、口腔内や口唇乾燥強い。口腔周囲筋のマッサージを個別でされているのは、とてもいいことだと思う。それに加えて、嚥下をスムーズにするために、口腔内のアイスマッサージを食前にしてみてもどうか。食前の口腔ケアも、口腔内を刺激して、唾液分泌も促進するので、効果があると考えられます。
10月	口腔 / 栄養	義歯はあるが装着していない。ショートステイを長く利用している。傾眠傾向強い。誤嚥予防について話を聞きたい。	傾眠傾向が非常に強いため口の中に食事が残っていても眠ってしまう。デイサービスでは殆ど目を閉じてうつむいている状態。声をかけて食事を促しても口を開けようとしない。口腔内の状態が悪くて義歯を入れていないのか確認しないとわからない(口腔内に傷があるかも?)可能なら家族にお願いして訪問歯科依頼できないか?普段入れてなくて食事の時のみ義歯を入れたら誤嚥のリスクは高くなります(口腔内は義歯を入れることにより狭くなり誤嚥しやすい)。今後のためにも、通常の唾液嚥下がスムーズに行くように、義歯調整の必要性があります。食事前に口腔ケアをして覚醒出来たらいいのではと思います。現在車椅子上での食事なので、藤本さんが言われていたようにベッド上で60度で食事されるのもいいのではと思います。(食事時間が長くなると疲れから誤嚥のリスクも出てくるので)
10月	口腔	口の中に唾液がたまったり、のみこめない。2~3日前にティッシュを半分食べてしまい、食事がすすんでいない様子。時間がかかる(一時間程度)。自分ではしでも食べている。とろみはなし。常食を食べている。むせもあり。	のみこむ力が落ちていると考えられます。むせもあったり、お食事に時間がかかるということなので、少し食形態を検討していただくとよいと思います。お家の環境も考えるとなかなか難しいかもしれませんが、一度専門機関で評価をしてもらうとよいと思います。ご自宅に伺って下さる歯科医院や病院もあるので、相談してみただけでないでしょうか。ティッシュをのみこんでしまったとのこと、とても心配ですが様子を見ていただき、主治医の先生に改めてご相談していただくとよいと思います。
10月	栄養	食事摂取中のムセが見られるため、9月に相談。ご本人の希望も考慮し、軟飯を思考することになった。変更後の評価を実施。	食事摂取中のムセは続いている。しかし、ご本人が粥は希望されないためこれ以上の変更は難しい。そのため、現行の食形態で様子を見ていくこととする。
10月	栄養	最近、食事摂取中に食べものがのどにひっかかかってしまう様子が見られた。食材は、鶏肉で食べやすくカットしたものであった。食事形態の変更等検討は必要か。	実際に、召し上がっている様子を見させていただきました。今回は、むせなく摂取されていました。ご本人に話を伺ったところ、その時は、体調が良くなかったとのこと。食事形態は、変更せず体調が悪い時は、食材を細かくする等注意するようにする。
10月	栄養	体重が低下してる。食事中にむせることがある。食事量が6割くらいしか食べられない。(BMI 19.3 パーキンソン振戦・脳血管性の認知)	心不全が背景にあるので飲水1回150×3→100×3にしてみてもいいかがでしょうか。
10月	栄養	体重低下。(3ヶ月 -1.4kg)。認知症のため途中でねてしまう	短時間でとらせる必要がある。家族の希望は常食なので、その点を考慮する。ハーフ食+テルミールソフトOKです。200kcal →500kcal OK!
10月	栄養	食事は現在米飯・常食を残さず食べておられる。体重は3ヶ月前からみると-0.1kgで先月から比較すると+0.5kgである	体重の変動が月毎に大きいと、何故かなと原因を考えますが、この方の分だとそう大きな値ではなく、大丈夫といえるでしょう。現在の62.9kgの体重は本人の身長との比較でBMI21.7とよい状態と思えます。きっと食欲も普通にあってもらえるでしょう。自宅での食事バランスよくとってもらえますよう時折話かけて下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりすることがあり、食事の時間30分以上かかることがある。	年を重ねておられますが、自分で食事を食べようと頑張っておられます。前回もあったように食べる時の食事の姿勢を確かめてもらうこと、一口一口をかんでふくめるようにゆっくりよくかんで食べてもらい水分(汁もの)には少しだけでもトロミをつけると食べやすいかもしれません。食事の時間は30分をこえると本人は大変えらいので分食にして、あとで又補食されてもいいと思います。
10月	栄養	食事は米飯・常食を食べられている。日常生活誰かに見守りをしてもらえば自立されている	今月の体重の値と身長との比較BMI18.0と数値やや低いです。食事の喫食状況は100%で問題ない。季節の変わり目で気分の変化やおちこみがあると食欲もダウンするので声かけをたえずしてもらえるとよい。今月の体重は身長に対してちょうどよい。続いてこの状態にもっていきましょう
10月	栄養	食事に30分以上かかる	食事の時間前には、口腔体操をして「さぁこれから食事の時間ですよ」と皆さんの声かけで本人は食べられるのでしょうか。意識して、一口一口食べていかれるようメニュー紹介などして興味をもって食べてもらって下さい。量が多いようであれば2つの食器に小分けして一つずつたらいらげてもらっていく、という方法もあります。
10月	栄養	食事をほとんど召し上がれず困っている。食事形態・粥・ソフト2(学会分類コード3)全介助。ベッド上で過ごされることが多く傾眠しがち	粥や形ありの副食を召し上がって頂いたところ口の動きは咀嚼の動きはなく、弱い力で潰して少しずつ送り込むだけの動きでした。粥の粘り副食の固さが現状では食べることが出来ず、食事が中断してしまいました。ミキサー粥・ミキサー固形食と試して様子を観察して下さい。
10月	栄養	体重減少 先月32.5kg(BMI 15.0)→今月32.3kg(BMI 14.9)。食事介助が必要なきももある。(パーキンソン)。食事に30分以上かかる	前回と様子は変わらない。現在ショートで再度デイでの食事が再開された時、食べにくいもの飲み込みにくいものがないか確認。家での食事についての介入は難しい様子だが、一度に食べられる量が少ないので何回かにわけて食べたりと間食(補食)を摂るとよいことを伝えてみる
10月	栄養	体重減少。家での食事記録をつけてもらうのは難しい。あっさりしたものが多く様子。エネーボ(300kcal・250ml)を1日かけて摂取	前月46.7kg(BMI16.0)→今月47.7kg(BMI16.3)。若い頃からの体重確認→何kgかはわからないが若い頃から細く体重は少なかった。デイでの食事は間食。前回から主食ごはん50gプラスしても食べられている。今後も主食は50gプラスする。エネーボ→以前より飲みにくさがない様子。1日の水分摂取量が少なめでお茶よりもうすめたエネーボの方が飲むことができるとのこと。家での食事が一度に沢山食べにくい様子であれば、10時、15時など間食に果物や乳製品などを摂る。
10月	栄養	(開業医 脳内出血) エンシュア処方。172cm 45.3kg。甘いものが好き。時々むせ(+のみ)	脂っぽい食事で逆流性食道炎のような症状がおこる場合があります。エンシュアの服用で、体調体重変化をご確認下さい。
10月	栄養	3ヶ月前より-1.9kg 自然な生理現象にも思える(100才)。ご家族の方へよい提案ができたかと考えている	年齢を重ねるにしたがって消化機能が低下してきますので脂っぽいものより、火を通してやわらかくしたり、繊維の少ない野菜の方がおすすめです。主食のおかゆに主菜の半熟卵、鮭などの魚を混ぜてたんぱく質も補給できるようにされるとよいと思います。
10月	栄養	食事を次から次へと口に運ぶ事が時折見られるのですが、声かけ以外で何か具体的な有効策はあるのでしょうか？	義歯を使用しておらず、食形態も全粥、刻みで提供していますが、口に取り込み丸飲みになっていることが多々ありますので誤嚥、窒息のリスクがあります。一度に口に取り込む量を減らすことを目的として、小スプーンを使用し、ゆっくり摂取するよう声かけを継続的にすることが有効だと思います。
10月	栄養	食事の時おかずばかり食べてしまって、おかゆを食べないのはどうしたらよいですか	粥の上におかずをのせて、声かけ、促してください。セッティング次第で変化はないか観察してください。副食は摂取出来ているとのことなので、摂取量が上がらないようであれば、間食、補食で補うことも検討出来るので経過を見て下さい。また、嚥下機能低下もあるので、合わせて観察をお願いします。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	栄養	体重が多い。BMI28.6。生活習慣病などないか？むせ・せきこみあり。食事のスピードが？	体重はかなりあり肥満症。特に高血圧・糖尿・脂質以上症などないか医学管理も見過ぎさないようにしたい。又食事もそれにかんがみ、味付けなど材料など考慮されたい。血管を守るためには配慮が大事。
10月	栄養	食事中にむせたり、せきこみがある。食事もうっくりしっかり食べられているか。又BMI17.3と少し食事が食べられていないのかなと疑われる	食事をゆっくり。1食の量を加減し、固さなども料理により加減し、食事・栄養が入るように工夫されたい。このまま体重の様子を見、減っていく様であれば、+おやつ栄養ある物を足したりしては
10月	栄養	食事中に仮眠。食事に時間がかかる	食事前にしっかりするために、口腔体操するとかまわりの人のフォローや声かけなどして1人で食事をさせないという思いを持つのも一つの工夫だと思われます。食事時間がかかるようなので、おかずをちょっとカットしてあげる。又煮物などやわらかさを気にするなど工夫もあるかと思われます。
10月	栄養	認知機能低下の時、食事がどうなっていくのか、どうすればよいのか。食事に集中できない	介助者への指導アドバイスなど必要かと思われます。今は体重の管理も良く、皆さんのおかげで生活は保たれている。強制ではなく、共に共感しながら心満足に食事や生活がしてゆけばよいのかもしれぬ。でもまわりの人が大変だ。
10月	栄養	食事環境を整えることにより、食事をゆっくりとれ、喫食率が良くなった。便の調子が悪い。	全粥・軟菜食は食物繊維が不足します。固いものばかりでなく、水溶性の食物繊維は果物(みかん・りんご)や柔らかい海藻類からもとれます。水分や脂肪(油)の摂取も大切です。乳飲料もよい。
10月	栄養	摂食状況にいろいろな課題が出てきた。術後で体調不良もあるためか、デイでの食事に残渣が多く、特に副食の摂取量が急に落ちてきた。食事量が少ない時はエンシュア等を補助的に摂取してもらっている。硬いものが苦手な家で豆腐等のやわらかい物ばかりになっている様子	BMI(体格指数)は25.5で問題ないが、やわらかい物ばかりに偏ってくると、今後咀嚼能力↓につながる可能性もある。逆に口腔に問題があつて、硬い物を避けていることも考えられる。原因を確認し、咀嚼力維持向上につなげられるとよいと思われます。
10月	栄養	現在の状態は割合落ち着いて食事を食べられている。これからもできるだけこの状態を続けたい。	食事の喫食率、主・副食とも100%で良好だと思われますし、体重も身長に対してちょうどよい理想的な状態です。年を重ねると食べるものがやわらかいものばかりに偏りがちですが、できるだけいろいろなものを、調理法も変えて(ゆでる・煮る・炒める・又生の状態でうすく切る)食事を味わってもらえるとよいと思われます。
10月	栄養	食事中むせたり、せきこむことがある。なかなか食物がのみこみにくい。時間がかかる。(体重58.3kg BMI19.7)	季節的にも食欲も出てきてよい状態になって頂きたいと思われますが、もう少しです。水分(汁物等)をしっかりとり、前回にも言いましたようにとろみをつけてもらったり、又ゼリー状のものをたえず食事の間において、他のものと一緒に食べられるようにすると、又工夫をされるときっとよくなると思われます。
10月	栄養	食事が進まずに困っている。口の中に食べ物が残ってしまう。食事形態：ご飯・ソフト2(学会分類コード3)	ピューレ状のものは、スムーズに食べられているが、ご飯のような固くてばらけるものは、いつまでも口の中に残ってしまい、飲み込むまでにとても時間がかかります。また飲み込むことが困難なものは、自ら吐き出されています。食事形態を粥に変更していただき、うすいトロミ1%程の水分と今後介助していくと、スムーズに食事が出来るかと思われます。
10月	栄養	食事が進まず困っている。食べられる時もあるが、ピューレ状のものしか食べられない。環境：ベッド上 ギャッジ30~40°で全介助。食事形態：全粥・ソフト2(学会区分コード3)	ピューレ状のものは食べられているが、全粥などの少し力があるもの・べたつくものは、口の中で潰して喉に送る作業が出来ていないために食べることに労力と時間がかかります。ご本人の体力もない中で、ご本人の能力に適した食事形態とはいえない状況です。また原始反射も見られていますので、まずは食事形態をミキサー食に変更(ミキサー固形食・ミキサー粥)していただき、トロミ付きの水分と交互に介助して、摂取量を上げて頂きたいと思われます。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
10月	栄養	⑧痰がからんでいるような声になることがある。⑨歯のせいで食べにくそうにしている。上下義歯。全がゆ、ソフト食	⑧食事外で水分補給をしていただく。痰が自分で出せるよう口腔体操でのどに筋力をつけていただく。⑨義歯が合っているか、確認。歯科への受診。食事形態は食べやすいようにされていると思います。副食をしっかり食べていただき、栄養が十分にはいるようにしていただく。
10月	栄養	①食事中にむせたり、せきこんだりすることがある(少し)⑧痰が絡んでいるような声になることがある。(食事外るとき)水分全部にきつめのとろみをつけている。軟飯。カット有。	①できるだけ姿勢をよくして食べていただくようにする。一度にたくさんの量を入れられないようにする。痰が自分で出せるよう口腔体操でのどに筋力をつけていただく。BMI18.1で体重が落ちないように100%の喫食と間食で栄養補給が大切
10月	栄養	⑦固いものを避け、柔らかいものばかり食べる。⑨歯のせいで食べにくそうにしている。常食・カット有。	⑦食べやすい柔らかいものばかりになると、そしゃく力・のどの筋肉も落ちてしまい、より柔らかいものばかりになる。どうしても糖質類が多くなり、タンパク質不足になる。食材によって食べられるものは、そのまま食べていただくよう。又、好きな食べ物は入っていくので、メリハリをつけるように。ご家族(介護者)の方と、一緒に進めていただけるとよい。BMI25.8なので、間食のカロリー等家での確認をしていただけるといいと思います。⑨歯の状態の確認と、必要なら受診を
10月	栄養	①食事中のむせ、せきこみ②食物がなかなか飲み込めず時間がかかる。③痰が絡んでいるような声になることがある。(⑩うがいできない)	本人の調子や食の好みで残されることあり。①・②疾病からくるもので、又加齢と共に能力も落ちてくるので、口腔のケア・体操等のどの筋力をUPすることが大切。③むせやすい献立は、トロミなどをつけて食べやすい状態にする。水分補給でのどをうるおすように
10月	栄養	②食事に30分以上かかる	前の月同様、あまり長くかかるようであれば、疲れるし満腹感が出てしまうので、分食していただく。声かけをして、一回の量をもう少し多く運ぶよう習慣づける。合わせて、のどの筋力UPの体操をしてもらう。栄養がとれるように、副食を100%にもっていく。体重減少-2kgなので、間食にもカロリーの多いものをとっていただくように。
10月	栄養	先日ティッシュを半箱たべてしまった。それから、食欲がない様子。排便(-)。つばでむせる。のみこめずためている。(前に向くと出てしまう)。はしを使っているのもあり、食事時間が長い	ティッシュについては、排便がないのが続いたり、食欲がなく食事量が減っているようであれば主治医やケアマネージャーに相談してみてください。嚥下機能が低下していると思われます。一度、専門医に診ていただかれると良いと思います。飲み物へのとろみ、食形態の検討が必要と考えられます。

11月相談

(添付資料 5)

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	歯周病と言われているので、歯の磨き方を教えてほしい	手が動くのであれば、歯と歯ぐきの境目にブラシを当てて磨いて頂く。手の器用さによるが、大きめのやわらかめの歯ブラシで効率よく磨くのも一つの方法であると伝えました
11月	口腔	前回歯が抜けたとのことでしたが、その後ケアマネージャーさんに連絡したという報告でした	まだケアマネージャーさんに連絡したばかりとのことだったので、今後また様子をお聞かせ頂くようお願いしました。
11月	口腔	前回と同様熱いものとゆげでムせる。左に食渣が溜まる。まだ専門家への受診までつながっていない	環境的に難しいこともあるので、継続して様子を見ていき、介入できる時にケアマネージャーさんに相談していただくようお願いしました
11月	口腔	前回食事が減っており、一度歯が痛くて食べなかったことがあったと相談。その後訪問歯科が入ったとの報告。クッション合わず座位保持難しいことについてはわからない	継続して歯を見ていただくようお願いしました。またクッションが合わず体幹の保持が難しいことに関しては引き続き介入出来る時にして頂くようお願いしました
11月	口腔	低体重(約2ヶ月で-2.3kg)。食事そのものがきつい(座るのもきつい)	咳き込みが強く、のどのゴロゴロ感が残られているので、「咳払いの練習」「深い深呼吸」「舌の体操」など個別で対応可能ならしてもらいたいです
11月	口腔	10月に「いんげん」をつまらせて、タッピングでとれた。(とても苦しいお思いをされた)対策としてテーブルの高さを高くして、食材のカットも工夫した。	食後にむせることが多いということで、舌の動きが悪く、送り込みが出来ていないのではと思う。今後のためにも、えん下評価を専門家(歯科医院)にしてもらった方がよいと思う。(歯科受診されているということなので、相談されたらどうでしょう)。食前のお口の体操もご本人されてましたが、食前に個別のえん下体操してみてもいいでしょうか。
11月	口腔	前月より大きな変化はないが、体重の減少あり。自分のペースで食事をされ、歯磨きも本人が行っている。ごはんは喫食率100%だが、かなり少なめで食べてみえる	食卓の高さを変更されご自分のペースで食事をされていて、ムせる様子もみられなかった。毎月体重が減少傾向ではあるので、必要エネルギーを栄養士さんに確認してもらって、主食の量を検討されてみてはどうか。食後の歯磨きの様子をみせて頂いたが、ご自身でよくされている方だと思ふ。うがいも良好なので、あと少し介助磨きでよりよい状態にして頂けるとよいと思った。(前葉、上下、歯間の汚れに注意。歯間ブラシで磨くと上手にできそうです。)
11月	口腔	特に大きな変化はない。うがい後の食渣が目立つ。	前月に続き、お口の動きや舌の動き、歯の具合をみて頂き、異常があれば受診をおすすめします。交互(個体⇔液体)で食べる、ひとかたまりにしやすいうようにトロミをつけるなどよいかもしれません。
11月	口腔	歯ブラシをするのをいやがる。2.3回いけたかどうかくらい。声かけは続けている。	冬になると風邪やインフルエンザなどの感染症が流行します。ころあいを見て予防になることを伝え、誘いかけをしてみられてはどうでしょうか？また汚れた歯や義歯、舌の写真などで汚れを落とすことが細菌量の減少につながることをお話されてはどうでしょうか？手鏡でご自身の口の中を見て頂くのもよいかもしれません。
11月	口腔	細菌お茶でムセが出ることがある。声の出も悪く、呂律がまわらない様子が脳出血や脳梗塞後の様だが罹患既往歴にはない。	声も枯れたように出、聞き取りにくい。5ヶ月程前からと本人とお話させてもらったらおっしゃられていた。口腔体操時、声出しや舌体操、息こらえ嚥下にしっかり取り組んで頂けるように声かけをしてあげてください。
11月	口腔	食事に30分位上かかる。食後義歯を食卓ではずしてしまわれる。間に合えば入れ物を準備している。	引き続き口腔体操に力を入れてもらい。食前に食事の認識をされているか確認して頂きたい。声かけを忘れず食事開始をうながす。義歯は受診して再調整で裏側入りにくくなっているか確認して頂きたい。
11月	口腔	①食事中にむせがある・せき込む。流涎；以前に比べて少なくなってきた	引き続き口・唇の体操や舌の体操を中心に続けて下さい。食後の歯磨きの際ご自身で歯ブラシを使用して(背を頬につける)頬の引き伸ばし(マッサージ)をして、頬粘膜をやわらかくし、口周りの筋の緊張を減らす運動も取り入れてみてはどうでしょうか？

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	10月②、⑩、⑫→11月⑩、⑫ BMI15.0(9月)→BMI14.9(10月)→ BMI14.8(11月)。パーキンソン症で食 事時腕の上げ困難なため、口元まで職 員が介助し、食事ペース調整をする ようになった。自宅での食事が管理し てもらうのは家族状況として困難。聞き 取りでもむずかしい状況。	来所時はお口の体操や口腔清掃をしっかりといただき、食事がしっかりとれるようにしてあげてください。首や肩まわりの筋肉をほぐし、胸郭を広げる運動もプラスしていただくと良いかと思います。
11月	口腔	①、⑦、⑫ 弱いとろみをつけ全がゆで食事	口腔体操・舌の突出運動をしっかりと続けて頂き、口の周りの筋肉をしっかりとほぐしてもらう。上肢のかたさをとり除く運動もプラスしてもらいたい。食渣がないか、口腔清掃後、口腔内の目視確認も必ず行う。(左右どちらか一方、上あご等への貼り付きなどいつも決まった場所にあるようならそこを重視した運動をプラスするのもよい)
11月	口腔	⑥食べ始められない、集中できない (前回の30分以上かかる)のチェックはなくなっている	食事の認知や食事介助でペースよく食事がすすめられるように工夫して下さい。TVやにぎやかすぎるテーブルは避け、食事に集中できるよう環境整備をして下さい。
11月	口腔	②食事30分以上かかる 家での食事内容の確認は難しく、調整も困難。認知症の進行に伴い、不安も大きく色々な指示は入りにくい	食事を楽しんで食べられる環境を整えて頂き、必要であればペースの促しもしてあげて下さい。口腔清掃時、少し義歯の様子をみましたが、噛み合わせの高さがうすくなっていて、すり減っているようなので、よく噛めず食事に時間がかかる原因になっているかもしれません。受診状況や試用期間をきいて頂き、適切な対処をとって下さってはどうでしょうか？
11月	口腔	⑫うがい後の残渣が多い。自宅での義歯洗浄難しい。利用時には必ず行う。	義歯のぬめり汚れが強いようであれば、食後の洗浄剤の使用をすることで汚れがつきにくくなり介助洗いの短縮にもつながります。義歯の滴号状態が悪くなっていると、義歯と顎堤の間に食渣が入り込みやすくなりますので義歯の調整をおすすめします。
11月	口腔	歯磨きをしている時つらそう。大変そうな表情なのが気になります。歯磨きは苦手なんでしょうか	辛そうな表情なのはなぜかまずは伺ってみて下さい。歯磨きが嫌なら「磨くとお口の中がスッキリして気持ちよくなります。ごはんもおいしく召し上がれますよ」と伝えて行いましょう。苦手なら「その場所をお手伝いしますよ」と声かけて仕上げ介助を行って下さい。もし痛みなどがあるようなら、そこを確認して下さい。
11月	口腔	前歯治療中、上の奥歯、詰め物がはずれたとのこと。歯ぶらしのあて方の説明はどうしたらいいですか	お口の中を拝見しました。前歯のところは、普通に磨いて大丈夫です。歯間ブラシも使用できます。右上奥の詰め物とれたところは、穴が大きくあいているので、そこに食べかす、汚れが付きやすくなります。歯ブラシ、歯間ブラシで出来る範囲で磨いて下さい。
11月	口腔	歯みがきも上手になっているので、歯肉のマッサージも行うとよいのでは？	歯磨きの際、ブラシの毛先を歯肉にも少しあてながら、歯肉と歯と一緒に磨くことで、歯肉マッサージの効果があります。汚れがしっかりと落とせていないとマッサージを行っても効果はありませんが、きれいな状態で歯肉を指の腹でマッサージするようにこすると、血行をよくしたり、唾液分泌を促したり、リラクゼーション効果もあります。
11月	口腔	歯と歯のすき間がせまい所にフロスを使うのはどうでしょうか？	歯間狭いところは、フロスを併用してもいいと思います。特に歯が重なっているところは、歯間ブラシ入りによく歯ブラシでも汚れが残りやすいので、使用してみてください。
11月	口腔	口腔ケアを促したところ、上義歯を外すのを忘れていて、なかなか外れませんでした。上義歯を外したところの歯ぐきに、歯の根っこが残っていて、歯ブラシをすると歯ぐきが傷つきそうなのですが。何か良い方法はありますか？	上義歯は1本のみの義歯なので、慌てずに義歯の歯の部分もしくはバネの部分指で下に降ろすようにして、外して下さい。はずすのを忘れないよう声かけも行って下さい。残根の部分も汚れが付き、歯肉炎症の原因にもなり、またその上に義歯も入るため、更に炎症が進行します。汚れをしっかりと除去することが大切です。やわらかい毛先の歯ブラシでやさしく磨き、汚れを除去して下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	舌苔の汚れが目立っていますが、舌ブラシを食後毎回使用してもきれいにならない場合は何か病気等の関連はあるのでしょうか。	舌ケアを毎回行っているにもかかわらず、舌苔が付きやすい状態は口腔乾燥が考えられます。乾燥の原因として、服用している薬が分泌を妨げる副作用があったり、また会話も少なくお口を動かす機会が減ると、唾液分泌も減り、舌の動き少なくなり、舌苔が増えてしまいます。また脳血管障害により、構音障害、片麻痺などがあると、舌の動きも悪くなり、舌苔が付きやすくなります。舌苔が増えないよう、毎食後の舌ケアも大切ですが、保湿ジェルなどで、舌・口腔内全体に保湿することで予防になります。唾液腺マッサージや健口体操でお口を動かすように心がけると唾液分泌を促すことになり、舌苔もつきにくくなります。
11月	口腔	自歯の方ですが、歯の所々が黒くなっています。歯ブラシではとれないのですが、、、どうすればいいですか。	磨いてもとれない黒いものは着色(ステイン)かと思います。お茶や他の飲み物のシブや着色・喫煙習慣があった方はタバコのヤニなどが着色しているかと思われます。一生懸命とろうと思って、磨いて歯肉に傷がついてしまうため、注意して磨いて下さい。
11月	口腔	入れ歯安定剤を多めに付けてしまい、なかなか綺麗にできず、又、歯に近い部分にもつけてしまいます。	入れ歯の安定剤の量は3~4mm程度の少量にして、入れ歯の端の方にはつけないように説明し伝えて下さい。入れ歯を口に入れ、1分間程度咬んで安定させて下さい。
11月	口腔	高齢であり、滑舌が悪いのですが、もっと簡単に効果的な滑舌の練習があれば教えて下さい。	お口の周りの筋肉と舌を動かす体操を行いましょう。頬をふくらます・へこます。口唇と「ア・イ・ウ・エ・オ」としっかり動かす。舌を口唇より外にだす。そして、上下左右としっかり動かす。などと、ストレッチを行ってください。早口言葉をはぎれよくゆっくり発音する。「パ・タ・カ・ラ」をはぎれよく、しっかり、舌・口唇に力を入れて発音。歌う。本を読んだり、声を出す機会を増やして下さい。
11月	口腔	はっきりと発音できるようにするには、どのような体操がいいのでしょうか。又、歯ブラシがしっかり当たらないのですが、声かけはどのように行うのがいいですか	構音障害のある方かと思われます。発音難しいところもありますが、口唇・舌の力を入れるところをしっかりと指示し、ゆっくり発音する。くり返し発音し、練習を行って下さい。また早口言葉や歌などもよい体操になるかと思われます。歯ブラシが歯にあたらないのであれば、一緒にブラシを持ち、介助しながら、ブラシを動かす、又は、外側みがかく時は、上下咬んで「イ」の口で磨くなど磨く練習を行ってみましょう。
11月	口腔	最近の口腔ケアがめんどうになっているのか？声かけだけでは、うがいと義歯をはずさずにブラシをあてるのみが多くなってきている。自分から積極的にキレイにしようという気持ちになって頂ける声かけ方法はありますか？	義歯をはずすことは出来るのに、ただその行為を忘れていただけかもしれません。声かけで理解できているのか、できていないのか確認し、指示が入らないのであれば介助が必要となります。ケアを習慣にすることで、自らはずすこともできるかもしれません。声かけ促しをもう少し行って様子を見てみて下さい。
11月	口腔	いつも右側に残渣が残っているが、舌の動きでは本人は残らないようにできないのでしょうか。	右側に残渣がある理由が右麻痺なのか確認します。舌が右側に動くようなら舌で歯の表面をなめるように動かし、残渣を除去するように指示して下さい。
11月	口腔	舌にキレツが入っているので、時々舌のブラシをあてなくても良いのかなと思います。本人は習慣であてたがりです。続けて良いのでしょうか。	舌に汚れがなければ、磨く必要はありません。しかし、汚れがある場合には、保湿ジェルで表面に塗り、やさしく舌ブラシで磨いて下さい。またケア後も保湿剤を塗り、乾燥を防ぎまた汚れの付着も防ぐようにしましょう。
11月	口腔	以前に比べ、舌苔が目立つようになったと思います。手前のものは舌ブラシで取れましたが、奥のほうはとれませんでした。	舌の奥を磨くのは、嘔吐反射もしやすく、舌を磨こうとすると舌をひっこめてしまったりするので難しかと思います。顎を引いて、少々下向きにしてもらい、舌を出してもらおうと比較的置くまで届くことができます。しかし、あまり奥まで頑張りすぎないようにして磨いて下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	①進行性の疾患のため、力のコントロールが難しくなっているようです。くるりーなブラシで強くこすってしまうせいか、歯茎からの出血が少量見られました。②また施設ではペースト食ですが、ご自宅では有形物を召し上がるようで、固いものは食べづらいとお話されています。ご自宅でもペーストでの食事をご家族へ提案したほうがよいでしょうか。	磨きすぎないように必ずケア見守りし、傷つからないためにも途中で自己ケア止めて、仕上げ行うようにして下さい。自己ケアではなく、介助ケアで傷こすらないよう注意して行って下さい。
11月	口腔	食事の時、スプーンで食べていますが、スプーンを口に入れ、取り込む際、くちびるを閉じず歯で取り込んでいます。どのような体操や声かけをすればいいですか？	お食事を召し上がる際、口唇閉じるように声かけてみて下さい。指示が入らない場合は、指で口唇上下閉じるよう介助し、動かして見て下さい。体操としては、口唇に刺激を与えるような動きを行いましょう。「イ」「ウ」くり返し、「ア・イ・ウ・エ・オ・ン」その際「ン」をしっかり力を入れ閉じる。ボタンに糸を長めに通し、口唇の内側にボタンを入れ「ン」と閉じて糸を引っ張って、ボタンが抜けないように口唇に力を入れてもらうなど行って見て下さい。
11月	口腔	氏の下歯が今にもとれてしまいそうです。ケア時のコツを教えてください。(取れずしっかり磨くコツ)	残根状態のところだと思います。また他の歯もむし歯が進行しているところ多く、先日も1本欠けたところありました。歯ブラシで汚れが残らないよう磨くことは大切ですが、歯肉痛みがある場合は、やさしく磨いて下さい。あまりにもすぐにとれそうな時は、ご家族に知らせて早めに歯科を受診するようおすすめして下さい。ケアもかなり難しい時は、その旨も一緒に伝え、歯科からの指示を頂いた方がよいと思います。
11月	口腔	舌の汚れが多いです。多くなる原因を教えてください。又ケアのコツも教えてください。	舌苔が付く方として、舌が十分動いていない(会話がない・構音障害あり)、口腔乾燥、清掃が十分に出来ない。舌ケアの方法は、舌ブラシを使用し、少し舌を向き前屈気味にし、しっかり舌を出してもらい磨いて下さい。舌の汚れがなかなかとれない時は、保湿剤を舌全体に塗り広げ、それから舌ブラシで磨いて見て下さい。
11月	口腔	下の汚れが多いです。ケアのコツを教えてください。介助はやや拒否がある方です。	舌の汚れが多くブラシで落ちきれない時は、保湿ジェルを舌全体表面に塗り、舌ブラシで磨いて見て下さい。一度に全ての汚れを取り除くことは、難しい場合は、ケアの最後に保湿ジェルを舌表面に塗って下さい。汚れも付きにくくなり、次のケアの時に汚れがとれやすくなります。また口腔乾燥の予防にもなります。舌ブラシで磨きすぎないように注意しましょう。
11月	口腔	舌を清掃する際、舌を長い時間出していられてない為、奥の方はあまり清掃出来ない事がある。どの程度奥まで清掃するべきでしょうか。	舌清掃の時は、途中休みながら行いましょう。5回磨いて少し休み、また5回磨くをくり返し、疲れな程度で行いましょう。奥の方が多く舌苔が付いている方は多いですが、嘔吐反射も出やすくなるので、全て取り除こうとしなくても、少しずつ減っていくことで、ケア効果も出てきます。
11月	口腔	歯間ブラシをご自分でも使っていますが、前歯の一部だけ出来るようで、他の部分は介助しています。どの程度ご自分でしていただくべきでしょうか。	手の振戦がある方なので、無理に奥歯の歯間をやっていただくのは難しいと思います。できることを安全に行うようにして下さい。他のところは介助で行いましょう。
11月	口腔	うがいをする時、口腔清掃の終わり頃にはしっかりとうがいができなくなる事がある。最初の数回は問題なし。疲労によるものと思いますが、何か対策はあるのでしょうか。	後半、疲労があり、うがいが難しい時は、無理に行わず、くるりーなブラシを使用し、(もしくはスポンジブラシ)口腔内全体を清拭して下さい。無理にうがいをすることで誤嚥のリスクがあるので、注意して下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	舌の汚れが目立つ	舌ブラシがあれば、鏡を見ながら舌を磨く練習を行って下さい。汚れがとれにくい時は、口腔保湿ジェルを舌ケアの前に全体に塗り、舌ブラシで磨くと落としやすくなります。舌のケアの後もジェルを塗り、保湿すると汚れも付きにくくなります。
11月	口腔	義歯のヌメリがなかなかとれない	義歯ブラシを使用し、ヌメリがとれにくい時は、手洗い用のハンドソープ泡状もしくは台所用中性洗剤などを付けながら磨いてみて下さい。
11月	口腔	うがいが上手に出来ません	うがいが不十分になってしまうと、お口の中も残渣が十分に吐き出せなかったり、粘性唾液が増えたり、舌苔が増えたりします。くるりーなブラシもしくはスポンジブラシ、口腔ウェットティなど併用し、口腔内清拭するのが必要かと思えます。
11月	口腔	歯ブラシの動かし方が上手にできない様子。	こちらの方はパーキンソン症もあり、今後更に動かすことが困難になるかと思われます。裏側は特に難しいかと思われるので、まずは外側を咬んだ状態で、歯ブラシを横に動かす練習をしてみてください。できないところは仕上げ磨き介助を行って下さい。
11月	口腔	入れ歯を外さないでみがいている	上下とも義歯安定剤でしっかり固定している。下顎の部分床義歯は3本歯が折れたままだが、歯科を受診する気はないとのこと。ご家族の協力は得られそうだが、本人にその気がないので、このまま様子を見る。夜は上下とも外して洗浄剤につけているらしいが、残存歯がみがけているかはわからない。仲良く話されている同じテーブルの方が歯科受診されたら話を振ってもいいかもしれない。
11月	口腔	時々残渣多く、入れ歯の汚れもある。週6日の利用時できることはないか	9月に義歯用ブラシの使用を提案したが、ブラシは変わらないまま。タフト24Sである。柔らかめなので、義歯洗浄の効率が悪い。また今日は痰のからみがあり、今のところは自己喀出できているが、今後気になるころではある。清潔保持をできるだけ心がける。
11月	口腔	洗面所で「上の入れ歯は外したことはない」と会話中に声が聞こえ見に行った。	下の総義歯は外して洗い、うがいをして終わろうとしている。口の中をみると、右上3のみ残存の部分床義歯なので、ちゃんとはめると説明した上で外してみる。内面にも人工歯にも多量の歯垢や食渣が付着している。清掃後「自分ではめる」と言われて難なく装着することができた。以上のことを職員に伝え、本人にも再度説明する。
11月	口腔	集中が途切れることがあり、食事や他のことでも時間がかかることがある。うがいもできる日とできない日がある。	日により様子は違うようで、今日は比較的スムーズに召し上がり、菓も上手に飲めた。口腔ケア時最初は拒否の様子を見られたが徐々に慣れていった。その日の調子に合わせ、無理のないよう継続できるように行う。食後は残渣が口腔内に残ったままにならないよう気をつける。
11月	口腔	口の中に変わりはないか。毎回ケアしているが奥までしっかり見えない	食事は自分のペースで介助だが結構時間がかかる。最後に残っておられたので、口腔内観察する。9月は前歯が折れたが、その後左上も欠けているようであると伝える。ご家族に伝えても積極的に歯科受診というわけでないようなので、とにかくデイ利用日口腔ケアをした時は、できるだけ口の中をみる。歯だけでなく粘膜もみることを伝える。
11月	口腔	食事中にむせたりせきこんだりがあったが、お茶でもむせられ気になる。	食物や飲み物でのむせや咳込みが頻繁にみられる時は誤嚥していることが疑われます。誤嚥性肺炎の予防の為、食前の口腔ケアを行って口腔内の細菌数を減らし、とろみをつけた食事で飲み込みが良くなることもあります。ご本人が辛そうであれば対処していくことも必要だと思えます。
11月	口腔	前回と同じく、食事中のムセやよだれが目立つ。のどもゴロゴロ音がし、痰が絡んでいる。	定期的に歯科受診があり、義歯や残歯に問題点が少ない。食事中の問題が非常に多いことから、食形態を少し変えてみて、とろみをつけたり、軟飯にしたりすることでムセが減るかもしれませんが。誤嚥されている場合は、本人が一番しんどい思いをされていることでしょうし、誤嚥性肺炎も心配です。食前の口腔ケアも是非試してみてください。お口の中の細菌が減り、覚醒もよくなります。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	食事中のムセやせき込み。固いものを避け、柔らかいものばかり食べる。歯ブラシを嫌がる。うがいの時の残渣	2か月前の相談から変化はなさそうですね。歯ブラシを嫌がるのは、人前で磨くというのが嫌なのか、歯磨きをすること自体が面倒くさいのか、でも違ってきますね。うがいの時、口から沢山残渣が出てくるようなので、歯磨きしないと歯間や義歯の歯垢や食渣やぬめりはとれません。お口は身体の入り口。きれいにすることで医療費も抑えられます。
11月	口腔	認知症進行。歯は20本位。歯磨き嫌がる。目に障害。片方の目だけ見えるが、ぼんやりで視界は狭い。ムセやせき込みはないが、前回の相談日前に歯が抜けた様子	御夫婦で高齢の二人暮らしで認知症の進行でショートステイがはじまるそうです。今までは本人の拒否がある為、誰も口腔に関わっていなかったようです。ショートステイ先の施設で何らかの口腔へのきっかけが出来るようになれば良いのですが。歯磨きの介助なり誘導なり、もともと口腔ケア拒否のある方は認知が進むと、強い拒否が続くケアが困難になることも多いようですので、介助による口腔ケアに少しずつ慣れて頂けるのが一番理想です。
11月	口腔	9月の時、うがいが出来なかったりのみこみが悪かったり食渣が多かったが、体重が増え、体調が少し改善されたことが重なり、のみこみが良くなったり、うがいが出来たりの変化がみられるようになった。	以前、寝ておられる時、総義歯が口から飛び出しているとの相談もありましたが、体重の変化により、口の中の顎堤もやせて義歯はすぐに合わなくなり違和感から義歯をはずした生活にもつながります。ご高齢ですので、どなたかが、こういった変化に気付いてあげられると良いのですが。
11月	口腔	食事中にむせたり、せきこんだりする。	とても体重の多い方で生活習慣病はどうでしょうか。どんな病気にも歯周病と深い関わりがあり、お口のお手入れすること大変なことです。歯ブラシを嫌がってはいけません。むせたり、咳込みもあるので誤嚥性肺炎の予防も重要です。しっかりケアしていきましょう。
11月	口腔	食事中にむせたり、せきこんだりする。	身長割に体重が多いのが気になりますね。生活習慣病はどうでしょうか。どんな病気も歯周病が悪化すると、病気にも良い結果が出てきません。むせやせきこみを減らし、お食事を今後も楽しんで頂ける為にもお口のお手入れはしっかりしましょう。
11月	口腔	食事中にむせたり、せきこんだりする。次から次へと食べ物を口に運ぶ	食事のペースが早くてむせたり咳き込んだりするのであれば、ペースをゆっくり声かけしたりで改善されればよいのですが、頻繁に起こるようであれば、次の改善策も必要になってきます。まだお若いですし、おいしくお食事がいつまでも出来ますように、定期的に歯科受診されることをおすすめします。
11月	口腔	食欲が落ち、体重の減少がある。食事に30分以上かかる	もともと体重が非常に少ない方で、それ以上に減っており心配です。デイではしっかり残さず食べておられるようですが、時間がかかっておられるようで、食事もお疲れになることでしょうか。時間のかからないメニューにしたり、出来るだけ好きな内容にされたり、体力を戻されるようにしてください。口腔内に汚れがあると、食欲も落ちるため、清潔にされるようにしてください。
11月	口腔	体重が非常に多く、自宅では際限なく食べたい物を食べられるだけ食べるという生活をされている。	年齢はまだ50代前半とお若いですが、常に何か食べている生活は、むし歯も歯周病の進行も早く、どんどん悪化します。病気もそれにより後押しすることになります。改善される為には今までにも様々な方の助言やサポートが入っておられるとは思いますが、歯科受診もおすすめします。
11月	口腔	インシュリン管理(通所・訪看・土日が家族)。外で取っているか？自宅にはない。今は200-300台で維持。(主治医はこのままと指導)。認知が進んでいる。朝：自宅 昼：月木通 他は？夜：月木金配食 他？。体操教室→失便により中止→通所を増？	口腔内→訪看で10月に確認→特に問題なし。→DMもあるので定期的に受診をした方が良いが通院困難。食べる順(OK)→ごはんが最後

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	食事が止まる。食前のお口の体操は、個別でつかないとなかなかお口が動いていない。	食前のお口の体操1対1で舌の体操・頬の体操等指導。笑顔がみられ、口唇より2cm程舌は出た。片方ずつの頬のふくらましは、できないが両方はよくできる。「パ・タ・カ・ラ」大きな声が出た。可能なら個別での歌や音読が出来ればと思いました。本日食事は止まることはなく、主食以外は完食。(一口・一口よく噛まれていた)
11月	口腔	入れ歯の調子が悪く(上・落ちてくる)、歯科訪問で今日から治療に入ったため、義歯無しで食事。(カット食(キザミ)の鶏照り焼きのため、ムセがよく出ている)義歯なしの間の食事形態の変更(検討)を考えている。	食事のペースがゆっくり・一量もティースプーンで食べておられる。パサツキ、バラツキの強いものはトロミ付(あんかけ)にしてもらった方が、ムセも出にくいと思う。今まで入っていた義歯がない間、口の空間がひろまり、まとまりがつきにくいので、ムセより窒息になる危険が高井。食事の観察は十分にさせて頂く。食前体操のごっくん、舌の上下突出運動をしっかりとしてもらってください。食事がすすまなくなった時は声掛けされていて、促しがしっかりできていて良いと思った。
11月	口腔	固いものを避け、柔らかいものばかり食べている	食事ペース、ゆっくり召し上がれているが、ムセる様子などはみられなかった。食事がすすまない時は水分の多いもの、固形のものとの交互にた食べて頂くだけでもどの通りがよくなるので、声かけで誘導してもらってください。現在の口の状態で食べられないもの・食べにくいものは形態を下げて食べやすい形にしてもらい嚙食率があがるとよいですね。柔らかいものを好まれるのであれば、ペースト状にしてテリーヌのように形を整えて出してもらえると、食がすすむかもしれませんね。
11月	口腔	食事に時間がかかり、固いものをさげ食べられる。歯がなく食べにくそうにされている。ショートあけより少し日が経ち、眠剤の影響がうすらぎ食事が増えてきた。声もよく出ておられる。	前月より食事の量も増え、嚙食率もあがってきておられるようで、声もよく出ておられた。調子の良い時には、しっかりと声を出したり、舌体操をして頂き、お口の調子をととのえてあげてください。
11月	口腔	食事に3分以上かかる。嚙食率副食70%。	食卓が高く、腕の上げ下げがきゅうくつになっておられた。イスに座布団やクッションなどで高さをとってもらおうとよいと思う。食事時の傾きには周りから声をかけておられて、ご自分で修正されていた。周囲の目配りがあり、とてもよい様子だと思った。
11月	口腔	前月より体重増えBMI15.2→BMI15.6。食支援アセスメント。特にきになるところはない。	食事のペースも問題なく落ち着いて食べておられた。前回より、1kg程体重も増えておられるようですね。ここでの食事が安定されているのであれば、主食量を少し増やされてカロリーの確保をされてはどうでしょうか。ご自宅での食事量とこちらでの食事量のトータルで体重増加につながると良いですね。
11月	口腔	①食事時のむせ、せきこみ、食事を楽しめない。②食物がなかなかのみこめない	食事時の姿勢について。座高が高く机も低い。左マヒがあり、前傾姿勢→トレイの高さを上げてもらうか机の高さを上げてもらえればどうでしょうか？。テレビが右側にあり、首を右へ向けて飲み込まれている。テレビの正面の位置に変えてもらうほうがよい。咽頭部左を高めるため、えん下おでこ体操や開口訓練を行ってみてはどうでしょうか。戸原先生の新聞記事を持ってこられ、どうしたらいいのかと切実に訴えられていました。
11月	口腔	食事にペースが早く次々と口に運ぶ。周囲とあわせようとゆっくりになることもある。食事時のムセときおりみられる。	小皿に分けて提供するとペースが調整出来る場合があります。周囲の方とあわせようとされるのであれば、食事中に会話を楽しまれる方や、ゆっくり目で食事をされる方と机を同じにされてもよいかもしれません。ムセがみられる時の食事内容をチェックしパサツキが多い(魚や干物系の小鉢など)ものは、とろみがけもよいと思います。カットの多いものは口の中でばらけやすいので、提供の工夫が必要かと思われます。口・唇・舌・頬の体操、首・方がほぐれているかも確認下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	口腔	ショートステイと自宅、デイ利用のくり返して受診(歯科)できていない。口の閉まりが弱く、しっかりと吹くことができない	歯科については、早めの受診が必要な状況なので、声かけ継続して下さい。首や肩の筋肉もかたくなっておられ、動く範囲もせまいので、胸を広げる体操と組み合わせて、上肢の動きをよくし、飲込みがよくなるようにしてもらって下さい。口・唇・舌の体操、声を出す体操を積極的にしてもらい、ストロー吹きなどもしていただくと良いでしょう。
11月	口腔	歯科受診はまだできていない。(他の疾病が優先になっている為)口腔内の汚れが多いとの指摘を受け、来所時は職員が付いて歯磨きをしてもらうようにしている。現状をCMにも伝達済み。	口・唇の力が充分でないとうがいも上手に出来ません。口の形に気をつけて「あ・ん」「い・う」の体操を大きな声を出してもらって下さい。口すぼめの呼吸が弱いようなので、ストロー紙風船やペットボトルブローイングもよい運動になると思います。引き続き歯磨きの見守り。介助もしてもらって早めの受診につなげて下さい。舌出し体操も積極的に取り組んで下さい。
11月	口腔	飲込みの良い食品について。食前の口腔ケアと食後の口腔ケア	PTによる嚥下筋に関わる頸部のマッサージや唾液腺マッサージなど丁寧にされていた。自宅での口腔ケアも、ご家族がしっかりケアされているようで、口腔内プラークの付着は少なかった。歯間部の清掃もされていて口腔内状況は良好。食前の口腔ケア時にも舌がよく動いていた。食事後の口腔内の食物残渣もほとんどなく、食事中にむせることもあるがしっかり嚥下できているようだった。スポンジブラシにて粘膜清掃を中心に行った。歯ぐきの腫れが少しあるようなので、歯ブラシを動かす時には、歯と歯ぐきの境目をマッサージするように磨いた方が効果がある。
11月	口腔	口腔内カンジダ菌治療に一ヶ月。(8月中旬～9月中旬)。フロリドゲル塗布(本人が嫌がっていた)。予防方法は後日TEL	口腔内細菌を減らしてあげること。片麻痺。転びやすく、滑ったりぶついたり。嚥下障害→舌体操。予防方法→口腔内の清掃を念入りに行うのが有効であると返答を受ける。又、口腔内の清潔が保持出来ていないと繰り返す可能性が考えられる。
11月	口腔	トロミの濃度を変えるのはどうか	常食→御飯 刻み→ミキサー。早食い。 完食→ペース抑え、一口量少なく。冬の時期15:00前後に嘔吐が続いたり、平成27年8月9日に誤嚥性肺炎で入院→医師よりミキサー食の指示。トロミについては評価を受けてから変えたほうが良い。飲み込む前に嚙みまじょうの声かけ
11月	栄養	体重-4.3kg(3ヶ月前、多少着衣の誤差(+))140cm 30.1kg。姉妹で暮らしている。妹さんが認知症、障害傾向あり、暴力をふるってしまうこともある様子。デイサービス週1回	体格がやせぎみなので、体重減少は心配です。デイサービス以外でのお食事や生活の影響が考えられますが、デイサービスに来られた時はなるべく完食できるようサポートしていただくと良いと思います。調理・買い物等の不都合があれば、配食サービスの検討も良いと考えます。
11月	栄養	ムセが少しありだが、トロミ等はつけていない。100%摂れている	BMI18.2とやせ気味である上に、毎月BW↓傾向が続いているため、食事形態が合った状態で食べられているか確認し、様子を見ていけると良いと思います。
11月	栄養	H28.4 62kg→H28.11 55kg 半年でBW-5kg。活動量↓により、食事量も↓によるものと考えられる	BW減少が続いているため、栄養状態の確認も出来ると良いと思われれます。意図的な結果ではない為、原因となっている事がわかると対応していけると思います。
11月	栄養	低体重(約2ヶ月で-2.3kg)。食事そのものがきつい(座るのもきつい)	食事自体が負担になっているため、短時間で高カロリー(高栄養)の物に1食おきかえるのも1つ案(残量が一番多い食事とおきかえる) 例)高カロリーゼリー、高カロリードリンクなど
11月	栄養	10月に「いんげん」をつまらせて、タッピングでとれた。(とても苦しいお思いをされた)対策としてテーブルの高さを高くして、食材のカットも工夫した。	咀嚼やくはしているが、上下運動だけで食塊形成がうまく出来ていないようで、のみこみまでに時間がかかっているため、まとまりやすいような工夫が必要かと思えます。(きざみは特にあぶないので、マヨネーズやペースト状の物で合えるのはいかがでしょうか。)

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	栄養	アセスメントにおいて、前回と変わらない。体重下少ない方でBMIは毎月18.2と低値である。これ以上体重が減らないようにしたい。	食事の時間が30分位上かかったり、なかなかのみこみにくい。むせたりするということがあられるようです。食事するのも大きな仕事で、この方にとって大変なのかもしれません。少量でも栄養があるもの、飲み込みやすいペースト状のもの等も時折食べて頂きたいですね。アイスクリームや冷たいゼリー、クリームチーズなど食事の合間にクリに入れてもらおうと、次がすすみやすくなる場合があります。体重はできましたら、32kgまでUPしたい。(この場合主食の量は1回110gくらいはあってほしいです。)
11月	栄養	食事に30分以上かかってしまう。(食事形態は米飯、常食カット有です)体重35.7kg BMI18.2と低値	低栄養状態にならないよう気をつけて頂きたい方だと思います。食事前に声かけをして、眠気が見られないか確認し、しっかり醒めている時に食べてもらうようにします。副食の蛋白質源(魚・肉・卵・大豆製品等)は残さず食べてもらいたいですね。牛乳やヨーグルトもおやつ等に食してもらえればいいのですが、、、。30分以上かけると疲れるので、食事の回数をふやすのも一工夫です。
11月	栄養	体重減少。47.3kg BMI(16.2)	46.7kg(BMI16.0)→47.7kg(16.3)→47.3kg(16.2)。デイでの食事は主食・副食とも100%摂れている。エネーボ(300kcal・250ml)お湯割りにして飲んでいる。デイでの食事：カロリーは摂れているので、たんぱく質が少ない事がある様子なので、家でも肉・魚・卵・大豆製品など毎食少しづつでも摂れるとよい。
11月	栄養	体重減少 9月32.5kg→10月32.2kg→11月32.0kg BMI(14.8)	体重増加はないが、デイでの食事喫食率は主食・副食とも100%。食べやすい大きさに介助もあり、30分以内で食事も出来ている。家での食事が少ないと考えられるが、介入が難しい様子。牛乳・卵・納豆・トーフなど、摂りやすいもので摂れるとよいが、実際に家庭でそれを摂り入れるのも困難。デイでの献立でたんぱく質がしっかり摂れることが大切。
11月	栄養	食事に30分以上時間がかかる。体重減少 32.8kg(BMI17.2)	32.3kg(17.0)→31.0kg(16.3)→32.8kg(17.2)。自分で食べることは出来ているが認知症が進行している様子。喫食率は主食100%、副食90%。時間はかかっても食べられている。家での食事の様子の聞き取りは難しく、どんな様子かわからない。認知症の進行と共に、むせなどが出てくる場合がある為、見守りをお願いします。
11月	栄養	食事時間ですが、1回摂取時間は大体何分ぐらいが適切ですか？また、片麻痺利用者の食事摂取時間の目安があれば教えてください。	片麻痺利用者の食事時間の目安は特にはないとは思いますが、1回の食事時間は30分を目安にしてください。それ以上かかるようでしたら、摂食嚥下機能と食形態が合っていない可能性があります。
11月	栄養	①進行性の疾患のため、力のコントロールが難しくなっているようです。くるりーなブラシで強くこすってしまうせいか、歯茎からの出血が少量見られました。②また施設ではペースト食ですが、ご自宅では有形物を召し上がるようで、固いものは食べづらいとお話されています。ご自宅でもペーストでの食事をご家族へ提案したほうがよいでしょうか。	6月に多摩クリニックにて嚥下機能検査を受けたとうかがっています。飲み込む力が弱く、飲み込みにくさから体重減少につながっているとのことで、ペースト食に変更し、ご本人様からも飲み込みやすいと話がありました。食事量を維持し、誤嚥を防ぐことが重要になります。ご自宅でも嚥下機能に合わせて食事形態を変えたほうがよいと思います。
11月	栄養	おやつを残すことが多い様な気がします。好き嫌いか苦手な物だったらいのですが、食べづらいのでしょうか？食事残す事が増えている様な気がします。	摂食機能面を考慮すると、現在の食形態が適切だと思います(全粥・ペースト・おやつペースト状)体重減少があるようでしたら、補助食品等の提案が必要になるので、経過をみて下さい。
11月	栄養	三ヶ月間で体重減少2.2kg(5.7%)。認知低下のためとご主人による老々介護で食事管理難しい様子。朝食食わずに服薬後、病院にて透析を受けている。娘さんの援助ある。	体重減少は医師による指示もあってのこととの事。今後は主治医との連携により食生活の援助がいろいろ必要になると思われる。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	栄養	体重3ヶ月で+3.6kgで気になる	10月頃から活動が減っている様子。今後はBMI25以上にならないよう、活動量アップと食事内容の見直しが必要と思います。
11月	栄養	三ヶ月間での体重減少-3.1kg(7.6%)BMI16.6。9月に退院し、デイサービス利用開始。車イスはベッドで活動量少ない。胃ろうから経口摂取で現状維持出来ている。野菜嫌い。(緑や黄色をみると嫌がる)11/9頃まで下痢が続いていたが、現在は整腸剤にて軟便に改善。	デイサービスでは全量摂取出来ているとの事。胃ろうからの経口摂取にて、消化機能・えん下機能の回復状態による影響があるかもしれません。主治医にも相談し、必要であれば、栄養補助食品の利用等を検討してみてください。(家族さんとも相談の上)
11月	栄養	三ヶ月間で体重2.3kg増となり、ご本人のQOL低下を今後招くことになる可能性もあり、どのような支援が必要か	BMI28.5(>25)肥満であり、今後も体重増となると下肢への負担や活動量の低下を招く可能性大きく、少しずつでも体重減らすことが望ましいです。(参考BMI25の体重=63.8kg)。まずは日常生活での食事内容と活動量の確認から改善できる点がないかみつけ、食事と運動の内面からの支援が必要です。ご本人の認知状態にもよるが、減量に向けての動機づけや楽しんで取り組める運動などがあれば効果が出やすく長続きすると思います。
11月	栄養	食事に30分以上かかる。食欲が低下している。	BMI12.6身長162cm体重33.1kg ここでの食事は米飯常食で喫食は100%とっている。ドクターより補助としてエンシュアを飲んでいいる。本人も補食することは理解され、必要に考えているのでしょうか。年齢も80歳でまだまだ。医療受診され、ドクターの管理のもとでありもう少し食べられるようになりたいな。食事が入らないと体温も上がらず、感染症もかかりやすくおやつにプリンとかカステラとか少しずつでも体重増やしたい！！
11月	栄養	食事中にむせたりせきこんだりする。次から次へと食べ物を口に運ぶ。	体重管理もよくBMI24.7前月よりも体重増加している。がこのまま体重増になると越やひざへの負担も増え悩ましい。(まだ若いし)ペースをゆっくりす様声かけもして下さっており、早食いは肥満のもとであり、まず野菜のおかずをしっかりと食べ、汁物主菜ごはん食べる順番を工夫するのも1つの方法かなと考えたりする。
11月	栄養	食事中にむせたりせきこむ。次から次へと食べ物を口に運ぶ	年齢も若く早食いなのではないでしょうか。体重管理もBMI22.8とすごく維持され良い。早食いの人は食べる順番を工夫しましょう。野菜のおかず・汁物・主菜・ごはんをよくかんで食べるものを一番にとります。一度意識してみてください。
11月	栄養	次から次へと食べ物を口に運ぶ	体重管理も良い。BMI24.6としっかりと食べて下さっている。早食い防止、又これ以上太ると腰・ひざに負担がかかるので注意したい。まず野菜を一番にとる。汁物・おかず・ごはんと声かけなどしてその様な工夫もあるかと思ひます。
11月	栄養	食事中にむせたりせきこんだりする。食べ終わると口のまわりによだれなどについている	食事前の体操はやって下さっている。ゆっくり食事する様声かけもされている。気を配りながら食事100%喫食できており、体重もBMI20.8とずっと良い状態は維持されているので良い。主食が全粥なのでよくかむゆっくり流すことが少し安易になり、そのあたりを意識して食べて頂くと良いかなと思う。
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりする。なかなか食べ始められない。食事に集中できないことがある。固いものをさげ、柔らかいものばかり食べる。(主食はおかゆ喫食100%。おかゆに塩をたくさんかける。おかずは常食80%)	食事前の体操はやって下さっている。ペースをゆっくりする様声かけされている。以前の副食は70%位しか食べられなかった。今は少し増え80%となった。体重もうまく維持できており良い。年齢も80歳で塩味がきいたおかゆが食べやすいのか、塩の入れ物を穴が小さい容器に代えて塩の使いすぎには気をつけたい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	栄養	食事中にむせたりせきこんだりする。食事に30分以上かかる。次から次へと食べ物を口に運ぶ。歯のせいで食べにくそうにしている。よだれがたえず出ている。	食事前の体操はできている。ペースをゆっくりする様声かけされている。飲み込みを確認して介助など充分配慮されている。前月より体重もアップされBMI18.4(前月17.3)としっかり食事が入ってきている。良かった。81歳なので、しっかり口に運びごっくんなどの筋肉が衰えてくるので、よだれもしっかり飲み込めなくなってきたのかな。食事もごはんおかずとも100%喫食されよい。
11月	栄養	食事に30分以上かかる。なかなか食べ始められない。食事に集中出来ないことあり。	高齢であり、声かけなど注意したい。体重も今月BMI20.0(先月21.3)と下がっており、3ヶ月でどれ位下ったかを気をつけてみてください。ここでのお食事は100%喫食されており良い。
11月	栄養	むせ・せきこみある。固いものをさげ、柔らかいものばかり食べる。うがいのあとたくさんの残渣が出てくる。	いろいろ食事がスムーズに入りにくいようですが、ゆっくり確実に入れるよう根気強く見守りが大切です。年齢も高齢なので、配慮をお願いします。
11月	栄養	肺炎後退院してこられたばかりで、低体重・筋力低下など気になる。食べるのもあまりできていないから見てほしい(病院ではソフト食を食べていたが、施設やデイではソフトは出来ない)	ミキサー食と短期間だけでも取り入れ、少し調子もどってくれば、再度食形態を変えると良いかもしれません。
11月	栄養	食事中のムセ。食事に30分以上かかる。副食の摂取率が低い。	トロミ剤を嫌われているため、汁もおかずも不摂取でした。又副菜も極キザミで最後に少量残される。最後まで摂取出来るよう、ドレッシングやマヨネーズ等でまとめてあげて全量摂取の声かけをされてはどうでしょうか。便秘の改善にも油分や良いです。
11月	栄養	食事に30分以上かかる。喫食率主：80% 副80%。固いものを避ける。	眠剤の影響が減り、喫食率が改善されてきた。焼き物料理は固くなりやすいので、かくし包丁を入れたり、うすくスライスしたり一口大の大きさを工夫されてはどうでしょうか
11月	栄養	痰やムセが減り、喫食率がアップしてきた。	好みの献立だったのか喫食率も食事時間も早くなり体調も良さそうです。好物を聞き、用意されると良い。
11月	栄養	②食事に30分以上かかる。BMI20.5	前の月同様、食事の食べ方は習慣づいていて、少しずつ口に運ばれている。常食、カットなしで、大きい野菜の切り方の場合は、一口で入る状態に切ってあげるといいと思います。お口の体操をしっかりしていただき、口の周りの筋力飲み込み力がupされるといいと思います。食卓と椅子が少し離れていて、もう少し深く座られるとどうかなと思いました。
11月	栄養	BMI20.7(+0.9kg BMI20.4)。④次から次へと食べものを運ぶ⑧痰が絡んでいるような声⑨歯のせいで食べにくそう。上下義歯。全がゆ、ソフト食	④ひんぱんには運ぶことがないとのこと。全がゆ・ソフト食なので、食事形態が柔らかすぎるかも。ゆっくり食べられるように声かけも。ひんぱんになるようなら認知症の疑いも。
11月	栄養	食事を食べ始められない。集中できにくい。体重が増えていかない。BMI18きれている。	食事は100%食べられておりよい。が姿勢がやや前かがみ60°なので、少し補正をしてあげたりすると良いのか。又体重の維持がBMIずっと3ヶ月18を切れているので、栄養のあるおやつとか少し食べられてみたらどうでしょうか。
11月	栄養	固い物をさげ、柔らかいものばかり食べる。	体重も毎月増加しており、BMI22.3と良い。しっかり栄養エネルギーもとれていると感じる。主食はごはんなので、柔らかめ少し配慮して頂くとかでスムーズに食べられる。ゆっくりよくかんで食べるのを注視して下さい。高齢でもあり(91歳)機能が落ちるのも仕方がないかな。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりする	体重管理はすごく良い。維持されている。(BMI23.5)前回相談が早食いがチェックされていたが、今回はなくゆっくり食事がしっかり100%食べられている。とても良い。どうしても早食いの人は食事を口にいっぱいほうばることが多いので、むせたりしてしまう。よくかんで、ゆっくり送り流すことを促そう。途中でお茶を飲んだりして、食道にきちんと流し込みたい。
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりすることがある。(たんがからむ、うがいのあと口からたくさんの残渣が出てくる)	体重も少しずつ減少している(BMI17.0)。高齢88歳で、舌の動きのみこむ力も弱まっているのか。しかし、米飯・常食を食べられて喫食100%とられており、すごく頑張っているが、やわらかめの御飯や煮炊き物は舌で、歯でくだける物を配慮する必要もでてくるかと思われる。まわりの人達の配慮が必要かと思われる。口の中が不清潔なので、口腔ケアが大切。
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりする。食事に30分以上かかる。食事をしながら寝てしまうことがある。うがいのあと、たくさんの残渣が出てくる	体重が9月に53.5kg BMI20.6。10月11月は体重測定ないので、減ってない様注視して下さい。食事中むせ・せきこみなど初め毎回トラブルが多いので、しっかり栄養が入っていているか心配。又だれかのお世話も必要かと思われる。ゆっくりよくかんで食べる。寝られてないかなど時々声かけなど見てあげて下さい。
11月	栄養	なかなか食べ始められない。食事に集中できないことがある。	体重はうまく維持されている。(BMI22.8)チェックでの食べ始められない。食事に集中できないとあるが、喫食率は100%であり、時間・手間はかかるが、しっかり食事はかみのみこむことはできているのでしょうか。会話も難しい所あるようであり、介助を必要とし温かい見守りをして支えていただきたい。
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりすることがある。食物をなかなか飲み込まず、のみこみに時間がかかったり、次から次へと食物を口に運ぶことがある。	体重が2ヶ月前と比較して+1.1kgとBMI21.5と丁度よい指数でおられます。現状の維持ができますよう3回の食事を大切に、しっかり食べていただけますよう励ましてあげて下さい。ゆっくりと食事ができるよう声かけをしてあげること。水分(汁もの等)にトロミをつけたり、ゼリー上にするなどおかずの形態を一部工夫するとのみこみしやすくなり、むせも防げるでしょう。果物と牛乳をミキサーにかけてもいいですね。かぼちゃ、じゃがいも類を入れた汁ものはとろみも出てきて食べやすいと思います。
11月	栄養	次から次へと食べものを口にはこぶことがある。	小柄な方ですが、食事は好き嫌いなくなんでも食べられます。と言われます。主・副食とも喫食率いつも100%のようで、調子よくくらしおられます。しかし急いで食事するとのがつまったりすることがあるので、一口ごとに咀嚼を促し、ゆっくりと食べるよう声かけしましょう。スプーンや箸・食器もこの方の大きさにあわせて、小ぶりなものでもいいですね。
11月	栄養	食事中にむせたり、せきこんだりする。	体重は3ヶ月前より1.5kg減となられ、現在BMI19.7である。体調はよろしいのでしょうか。喫食は主100%副90%ときちんと食べられているようで、食欲が今の現状の通りであれば問題ないと思えます。食事は姿勢も大事です。あごを引き気味にして、おなかを伸ばし、やや前かがみになった姿勢が基本姿勢です。声かけして、ゆっくりよくかんで食べていただくのもどうぞ続けて下さい。
11月	栄養	飲み込みの良い食品について。食前の口腔ケアと食後の口腔ケア	先月の訪問時あくびが多く飲み込み良くなかった。そのため、ソフト食の紹介を行った。白身魚のパチとひじきの煮物のムース。2品ともよく食べられていた。
11月	栄養	臀部に褥瘡があり、なかなか改善が見られない。車椅子上除圧のクッション等は使用している。栄養名で改善につながる案はないか。	通信販売等でも購入できる高栄養の食品を、普段の食事に組み合わせはどうか。今後、サービス担当者会議等の場でご家族に情報提供していく。

12月相談

(添付資料 6)

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
12月	口腔	食事時のむせ、せきこみ。痰がからむような声。	おそらく、のど・口のまわりの筋力低下が一番の原因かと思われる。しっかりとせきこんでもらうように声かけ(少し前傾姿勢になり)こちらがうながすことで、のどの残留がクリアになるかもしれません。あまり強いとろみものどにはりついてしまうので、注意して下さい。
12月	口腔	食事時のむせ、せきこみ。食事がなかなか飲み込めず、時間がかかる。痰がからむような声。	机の高さと車イスの高さが合っていない状態のため、前かがみの状態で食事をとっている。前回(先月)も高さを変えてほしいと記入。本日は嚥下時はまっすぐ前を向いておられた。テレビはまだ右側に設置されていた。先日「嚥下おでこ体操」「開口練習」を説明。今後も継続してもらうことが大切。痰がからんでいる時はしっかりとせきばらいをしてもらうようにして下さい。
12月	口腔	次から次へと食べ物を口に運ぶことがある。痰がからんでいるような声。	皿に盛る量を小出しにするなどして、ペーシングする。なかなかご本人だけでは変えることは出来ない。そばで見守っていただく必要あり。筋力低下を防ぐため、健口体操の実施、せきばらいを促す(食後痰がからんでいたら)。声を出してもらうように
12月	口腔	①食前の健口体操の実施②食事時の姿勢について③食後の口腔ケアについて	①食前の健口体操しっかりされています。②食事時、テレビがついているため、テレビに背を向けられている人は気になる様子で、うしろを向いたりされている。しっかりのみこめる人はいいが、嚥下力に問題のある人などは、場所に配慮してもらった方がよい。机とイスとの高さがうまく合っていない人がおられ、前傾姿勢になっている人あり。トレーの下に箱をおいてもらうなどして、高さを調節してもらえるとよいでしょう。姿勢もかたむいておられる方あり。シーティングしっかりチェックしてもらえるとよいでしょう。③食後の口腔ケアは、スペースの問題もあってか、バラバラとされているよう。全員がされるわけではない様子。独居の方やなかなか家で出来ない方などは、デイサービスに来られている時に、しっかり行ってもらう方がよいので、できれば全員しっかり行えるといいでしょう。1日1回でもしっかり行っていると、誤嚥性肺炎のリスクが下がると思います。(口腔ケアされている方でも、歯ブラシがだいたい悪くなっておられる方がいたので、物品についてもアドバイスしていただけるとありがたいです。
12月	口腔	お口が乾燥するとのことで、自宅や他施設でどのようにしたらよいかとのご相談でした	保湿ジェルやスプレーも市販されているので、薬局や介護ショップで見て頂き、自宅やご本人が持っていれば他施設にも持っていけるのではないかとお伝えしました。全身的な水分補給も行ってください。
12月	口腔	歯間ブラシを使っているとのことで、ブラシの換え時を教えてくださいとのことでした。	使う時に上手く入らないこともあるとのことなので、針金の劣化が気になります。ブラシの消耗ではなくて、針金が折れる前の早目の交換をお伝えしました。
12月	口腔	体重が減少している(3ヶ月で-4.3kg)	現在は歯科治療を行っていて、一時歯が痛くてかめない時期があったとのこと。体重が30kg切る前に、お食事の量より質の問題。見直しなど、内科などで栄養相談につながればよいかと思ひ、お伝えしてあります。量は召し上がっているとのことでしたので、カロリーの高いものやタンパク質の摂取など、ケアマネジャーさん含めて何らかの関わりをした方がよいのではないかとお伝えしました。
12月	口腔	左上前の3本つながった差し歯がだいぶグラグラしている。本人に自覚症状はないが、このままでいいか。	むし歯が進行していて、その歯についても受診をすすめたが治療には至っていない。今回もご家族に伝えてはいるが受診は難しいようであれば、口腔ケア時に残っている歯の確認を行う。その都度家族に報告し、管理を心がけるようにする。
12月	口腔	残渣多い、食べにくさあり、軟かい食事になっている。しかし形態はカットなし	上の義歯がゆるいことが大きな原因だが、咀嚼能力によってはカットが必要な場合もある。食材によっても違いがあるので、要観察をさせていただきます。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
12月	口腔	先月の口腔ケアについての相談に追加	ご家族が食事介護や口腔ケアについて、困り事があつたりした場合は口腔機能についての相談できる歯科がありますので参考にしてください。口腔機能回復支援相談医名簿を参考にしてください（福岡県歯科医師会HP）訪問診療や居宅療養管理指導などを利用されると口腔ケアに関するご家族の負担が軽減されます。
12月	口腔	最近お昼頃は眠いと訴えられることが多く、早めに食事をすませお昼寝をされる。食事中的ムセも以前より減ってきている。	お食事量もしっかり食べられている様子でした。今日の食事中もムセられることなく召し上がられていました。体調が安定していると食事すすみやすく、体力があるとムセた時も咳払いもしやすくなります。良い循環が続くようにしっかり食べて頂けるようにしてもらいたいですね。これから本格的に寒くなるので特に食後の口腔ケアをしっかりと。痰もからみにくくなるのでうがいをしっかりとしてもらって下さい。声出し、舌の運動を積極的にしてもらって下さい。
12月	口腔	義歯の修理は継続中。利用日の食事メニューがあんかけ状の物が多く、ムセも少なく食事をとってもらえた。今後も義歯のない状況が続くようであれば食事形態は変更していくつもりである。	口の中に問題多く、食事中的ムセやせきこみ、時間がかかる等が出ていると思われるので、口腔環境が整うまでは食事観察形態への配慮は続けて下さい。食前の体操は欠かさず、唾液がよく出る体操は積極的な取り組みをお願いします。
12月	口腔	固い物避ける。軟らかいものを食べる（好んで）副食（喫食率）20%	主食は進んで食べておられる様子ですが、主菜や副菜ははしが進んでおられない様子でした。現在の提供にトロミはついていませんが、あんをかけるなどしてまとまりやすい形状で食べて頂くと飲み込みやすくなり、進むかもしれません。残存歯少なく舌や唇の動きが悪い方は水分の少ないパサつきの強い物は口の中でうまくまとまらず飲み込みにくくて食べられない、食べたくないにつながりますので工夫をして頂く、主菜が入るようにして頂けるとよいですね。
12月	口腔	体調もだいぶ安定され食事のペースや量もあがってきた。	服薬が安定され、食事すすんで食べておられる様で何よりです。引続き食事のペースが落ちないように声をかけて頂きながらお食事を摂って頂けるとよいでしょう。唇や頬をふくらませる力は飲み込み力を助けてくれるのでお口の体操を積極的にして頂けるとよいでしょう。足底は床につくように姿勢調整も気をつけて下さい。
12月	口腔	食事中的ムセやせき込んだり、30分以上かかたりと気になる点はあるがご自身のペースで食べてみえる。歯間ブラシはどんなものかとたずねられ、歯と歯の間の掃除も気にしておられる。前回より仕上げ磨きを足すようにしている。主食も少し量の調整を声かけして増やしている。	ご自身のペースで食事をされ、食べる意欲を持って下さっているのはよいことです。食後もご自身でしっかりと歯磨きをされているのでよいことだと思います。食事のとりやすい様、疲れないように姿勢に気をつけて頂き、口の中にトラブルがおきないよう歯磨きをフォローしてあげて下さい。寒くなりますので、うがいも注意をして積極的にしてもらって頂きたいです。食事後半の姿勢が気になります。上肢が支えやすい様テーブルを工夫されてもよいかもしれませんね。
12月	口腔	体調はよくされているが、食事ペースが早いのはあまり変わらず気になっている。家でも家人より言われるとのこと。なかなかうまく調整ができない。	食事ペースが早いと食べすぎにもつながります。おはしを1口食べたからおろすように心がけて頂き、おはし置きにおろすくせづけをして頂いて下さい。丸のみにならないように1口20回、噛むように意識してもらって下さい。
12月	口腔	歯磨きの誘導を行うが日によっては嫌がられ、入れ歯やから、と言われることもある。調子よく出来ることもある。	義歯や義歯を保持するための歯はとても汚れやすくなります。食器と同じように食べるための道具であることをお伝え頂き、少しでもお手入れにつながるとよいですね。冬場は義歯についた汚れに風邪の菌やインフルエンザのウイルスが付きやすくなりますので特に注意してもらって下さいね。現状のBMI22.1を下回らないように維持もして頂いて下さい。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
12月	口腔	歯間ブラシを使っているとのことでブラシの替え時を教えてくださいとのことでした。	使う時に上手く入らないこともあるとのことなので針金の劣化が気になります。ブラシの消耗ではなくて、針金が折れる前の早めの交換をお伝えしました。
12月	口腔	お口が乾燥するとのことで、自宅や他施設でどのようにしたらよいかとのご相談でした。	保湿のジェルやスプレーも市販されてますので、薬局や介護ショップで見て頂き、自宅やご本人が持っていれば他施設にも持って行けるのではないかとお伝えしました。全身的な水分補給も行って下さい。
12月	口腔	ブラッシング中にかんでしまう	左の奥歯のほっぺた側に食物残渣がたまりがちです。口腔ケアの時にまず、左下の外側から磨いていただければ残渣がよく取れます。内側よりも外側（ほっぺた、口唇）との間にたまりやすいです。ハブラシ又はスポンジブラシで。
12月	口腔	食事介助をすることにより、30分以上食事に時間がかかることは減った	食環境を整え、食介でスムーズに食事開始ができておられるご様子ですね。食べる準備が口の中で整うように、発声や舌、口唇の体操をして、食事を摂るようにしてもらって下さい。
12月	口腔	12月時食支援アセスメント⑩⑫パーキンソン症で食介助をしながら食事をしているデイではしっかり摂れているが体重が減ってきていたので家人も心配され受診された。自宅で2人暮らしのため食事量や内容の確認は困難。	疾患より咳が出にくくなり不顕性誤嚥の心配が疾患の進行と共にでできます。口腔内のケアと嚥出力を維持する運動を取り入れ、安全な食事がとれるようにして頂きたいです。軽い上肢の運動も続けて頂くとよいでしょう。飲み込みに時間がかかるようになってきたらトロミ追加の検討もおすすめします。ご自宅での状況はCM→主治医→家人への確認ですすめていけると良いですね。
12月	口腔	12月①⑦⑫にチェック有。初回より個別の口腔体操の内容を追加し少しずつ改善の様子がみられている。	口腔体操の個別対応を続けて頂き、現状の維持ができるとう良いですね。舌の動きが鈍くなると、飲み込む動作に支障が多く出てきます。口唇を閉じ、口の中で舌をまわす体操をして、粘膜にも潤いを保てるようにして頂いて下さい。
12月	口腔	うがいの後、口から食渣が多く出る。食後の口腔清掃は職員が補助している。	義歯のぬめりは来所時にしっかりと補助清掃を続けて下さい。義歯の適合が悪いと食渣が入り込みやすくなりますので、調整されることを引続きすすめて下さい。唾液による自浄性を高めてもらう効果を期待し、積極的な唾液腺マッサージや舌の運動で流量を増やしてください。
12月	口腔	食事に30分以上かかり、喫食率、主50%副60%認知症逆行に伴い、不安も大きく指示が入りにくい。	良く嚥んで食べられることは脳や身体バランスを整えてもらうことにとっても大切なことです。義歯調整をして頂き食べられる口の環境を整えていかれることをおすすめします。義歯がはずれたりしやすい方は飲み込むときに舌の持ち上げの距離がかわりタイミングのずれが出てしまうこともあるので食事の観察を時折してあげて下さい。
12月	口腔	むせやせきこみ、のみこみに時間がかかり、飲込みが悪い。歯のせいで食べにくそうにしている。うがいの時口から残渣が出てくる	こちらの施設では、食事の時や歯磨きの時に出来る範囲で気をつけ、気にかけて介助しておられ素晴らしいと感じます。今月はスプーンにのせると自分で口まで運ぶようになられたとのこと。歯のせいで食べにくそうとせっかく気付いていただけたことが、次につながれば、入院やケガや形態が落ちた時にも何らかの乗り越えられる手段になると思うのですが。
12月	口腔	むせ、せきこむ、食事中寝てしまう。痰の絡みがある。うがいの時、口から沢山の残渣が出てくる。歯磨きの時水を沢山こぼす。	訪問歯科診療でお口のお手入れは、後回しにはなっていないようですが、口腔内外の筋力などの衰えや舌の動きも悪くなっているのでしょうか。食前の口腔体操をすること、誤嚥予防にぜひ食前の口腔ティッシュを使っての拭き取りマッサージなどをおすすめします。
12月	口腔	むせたり、せきこみは相変わらず続いている	前回のアセスメントには、固いものを避け、軟らかいものを食べるの項目のチェックもありましたので、咬合に問題があったり、痛みが伴ったりの日も考えられます。口腔の問題を解消したり、口腔内を清潔に保つことで、ムセやせきこみの減少につながり、ご本人が安全に楽しんでお食事出来ることにつながれば良いのですが。
12月	口腔	おかゆから普通食になった。副食減らさず食べるようになった。食事中むせや咳込みがある	普通食になり、完食出来る要因になったことは、体力も付き、また食につながり素晴らしいこと、良いときも悪いときもあると思いますが、良い時が継続出来るよう頑張ってください。

実施月	口腔 / 栄養	相談内容	指導内容
12月	口腔	食前の口腔ケアと食後の口腔ケア	PTによる嚥下筋に関わる頸部のマッサージや唾液腺マッサージなど丁寧にされていた。自宅での口腔ケアも、ご家族がしっかりケアされているようで、口腔内プラークの付着少なかった。歯間部の清掃もされていて口腔内状況は良好。食前の口腔ケア時にも舌がよく動いていた。食事後の口腔内は食物残渣もほとんどなく、食事中にむせることもあるが、しっかり嚥下できているようだった。スポンジブラシにて粘膜清掃を中心に行った。歯ぐきの腫れが少しあるようなので、歯ブラシを動かす時には、歯と歯ぐきの境目をマッサージするように磨いた方が効果がある。
12月	口腔	食事に時間がかかる	先月より、食事形態の変更(刻みから一口大へ)し、食べられるようにはなってきたとのこと。本日は、食事を始めるまでに時間がかかった。一口大のもの、お肉は好きなようで好んでたべられていたので、刻んでしまうと、食事とわかりにくかったのかもしれない。筋力低下はあると思われるので、食前の健口体操をしっかりと実施してもらえるとよい。
12月	口腔	歯ぐきから出血する。なかなかみがかせてもらえない	全体的に歯周病が進んでおり、歯ぐきが赤く腫れていて、出血しやすい状態がある。今使用している歯ブラシが少しかたいため、みがくと、痛くていやがられる可能性もあり、やわらかい歯ブラシを使用してもらえると痛くなく磨かせてもらえるのでは？
12月	口腔	食事のペースは大きな変化なく早い傾向。職員がつき、声かけを心がけている。来週CM来所し、栄養士さんとの話をしてもらう予定でいる	お食事のペースについては、早く食べることでムセたり、口いっぱいにされたり、つめ込みにならないようであれば、職員さんの声かけでこれ以上に早くならないように見守ってあげてください。水分のトロミは続けて頂き、カット食の際、ぱさつきやすいものはトロミやあんかけでムセを防ぐようにしてもらおうと良いでしょう。声を出し、口の周囲筋を動かしてもらったり、食事前に肩甲骨をまわすなど上肢のかたさを取り除くようにしてもらってください。口の体操時しっかりと舌も出ていましたので、続けてやって頂くとよいと思います。歯磨きの際、歯ブラシの背で頬の粘膜をマッサージする運動を足してみてもいかがでしょうか
12月	栄養	減量について。91才女性。身長143.0cm。体重62.6kg。BMI31.1。本施設利用時は食事全量摂取(主食は小盛)。甘いものが好き	「明太子と白いご飯が大好き」とのこと。甘いものは糖尿病を持っているのであまり食べない。62kgの体重を維持していくためには、1600~1700kcal/日摂取していると思われる。極端な減量は推奨出来ない。1ヶ月で-1kg程度。これ以上増加するようであれば、炭水化物を少し減らす。(タンパク質は残存機能の温存や栄養状態を鑑み、減らすべきではないと思われるため。)
12月	栄養	BMI19.3 前回18.6 体重+1.4kg。①食事中のむせ、せきこむ ⑧痰がらむような声に	①自分で食べられるものはしっかり食べておられている。今日の厚揚げのそぼろ煮は見ただけで、ひき肉がぼろぼろした状態でむせるのがわかっていて、口にされなかった。食事形態を変え、あらみじん切りで、煮汁とろみになれば、喜んで食べていただけたと思います。弱いとろみ→メニューによってさらにすすんだ状態に。⑧声をしっかりと出す練習、水分補給を。のどの筋力up体操の継続を
12月	栄養	なかなか食事を食べ始められない。食事に集中できない。うがいができない。	体重管理もずっと良い9月BMI22.8→12月BMI23.2。Wに5回デイに来られ、食事の量もちょうど良い。家でもおやつなど気をつけておられるんだと感じます。お世話がいらいますので、スタッフ、家族も大変ですがうまく体を整えられていると思います。支援のもと食事も100%喫食できています。皆様御家族の支えをよろしくお願ひします。